

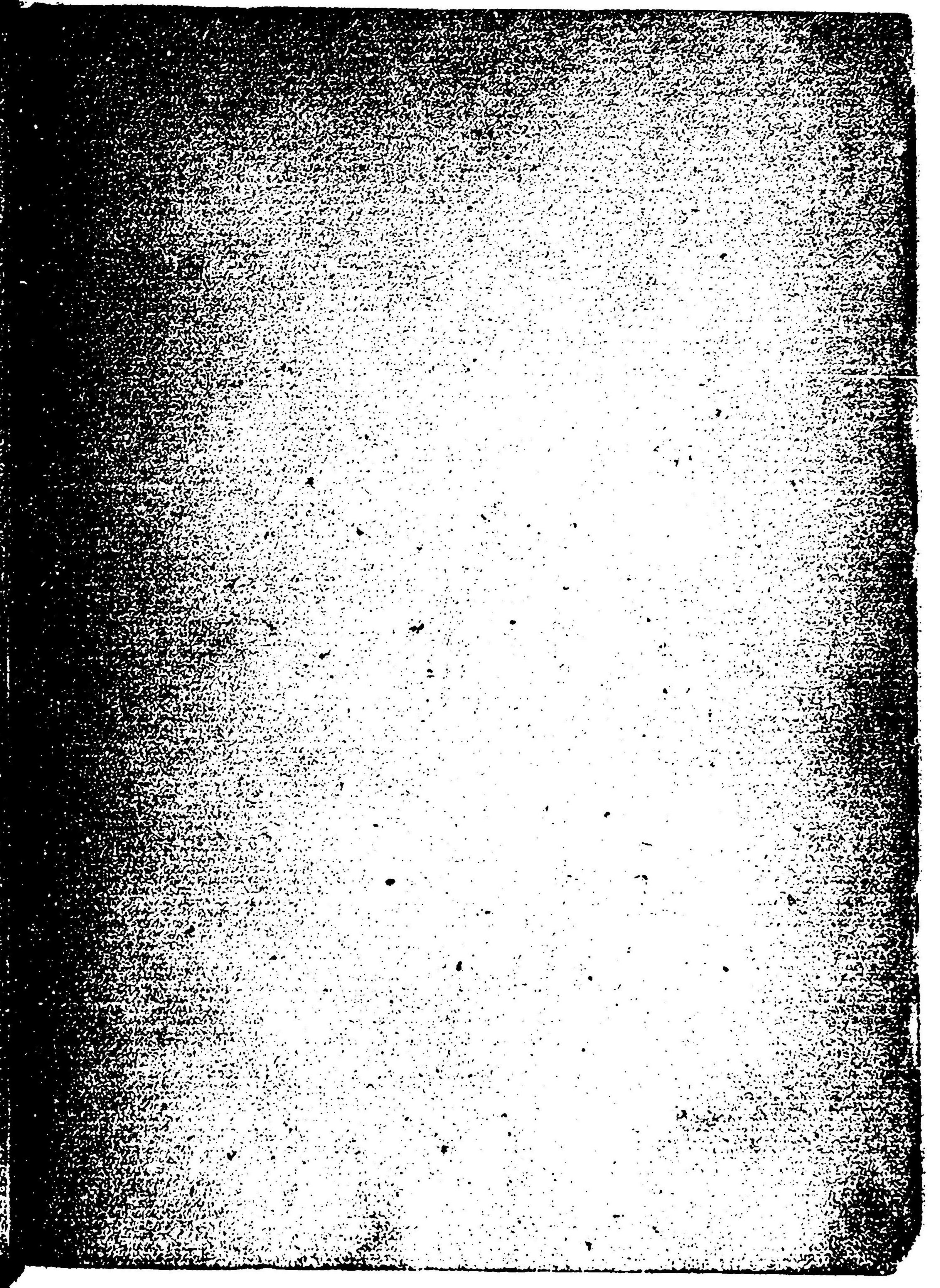
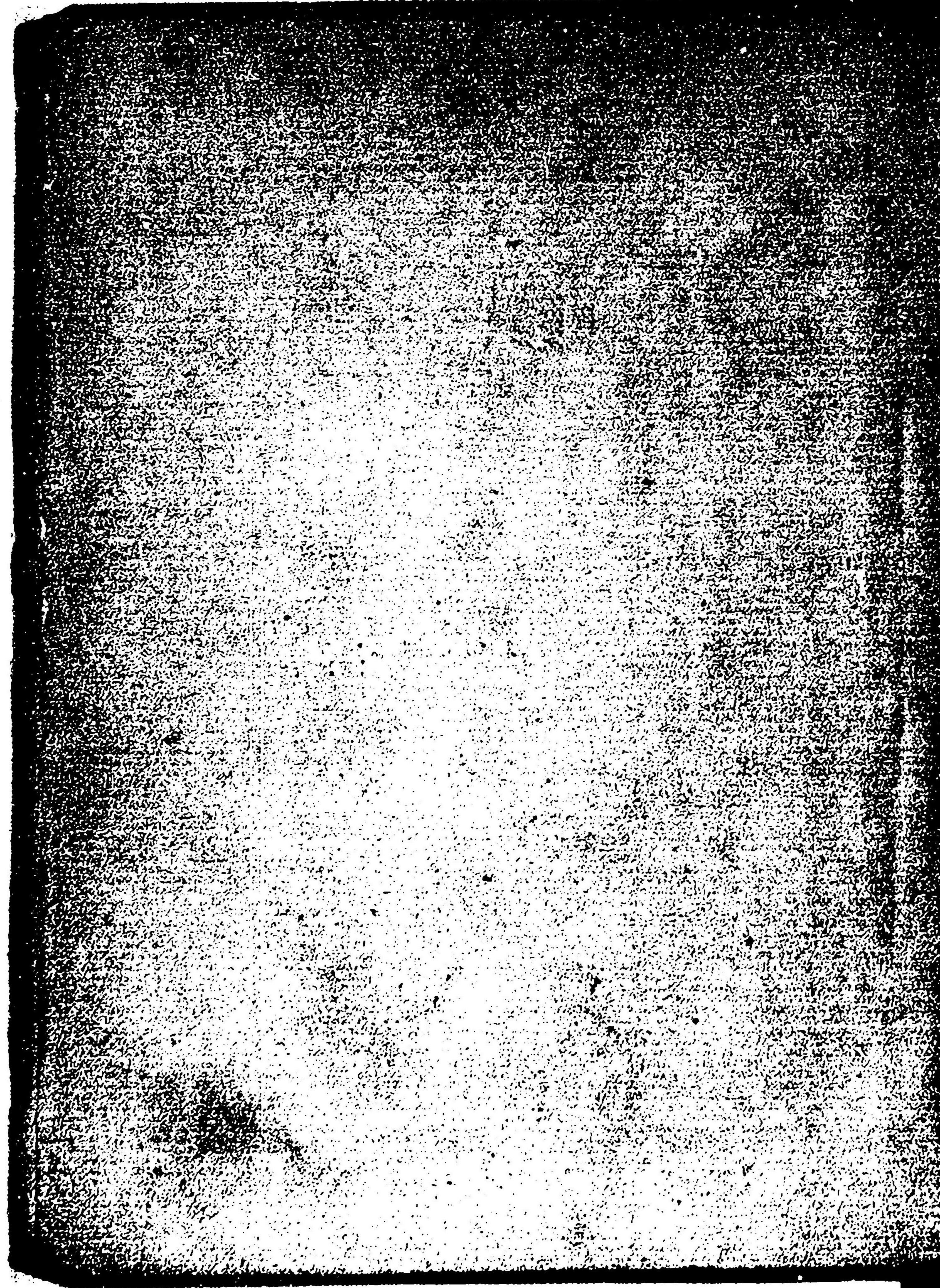
146
655

帝國
海軍

軍人問答

全

特



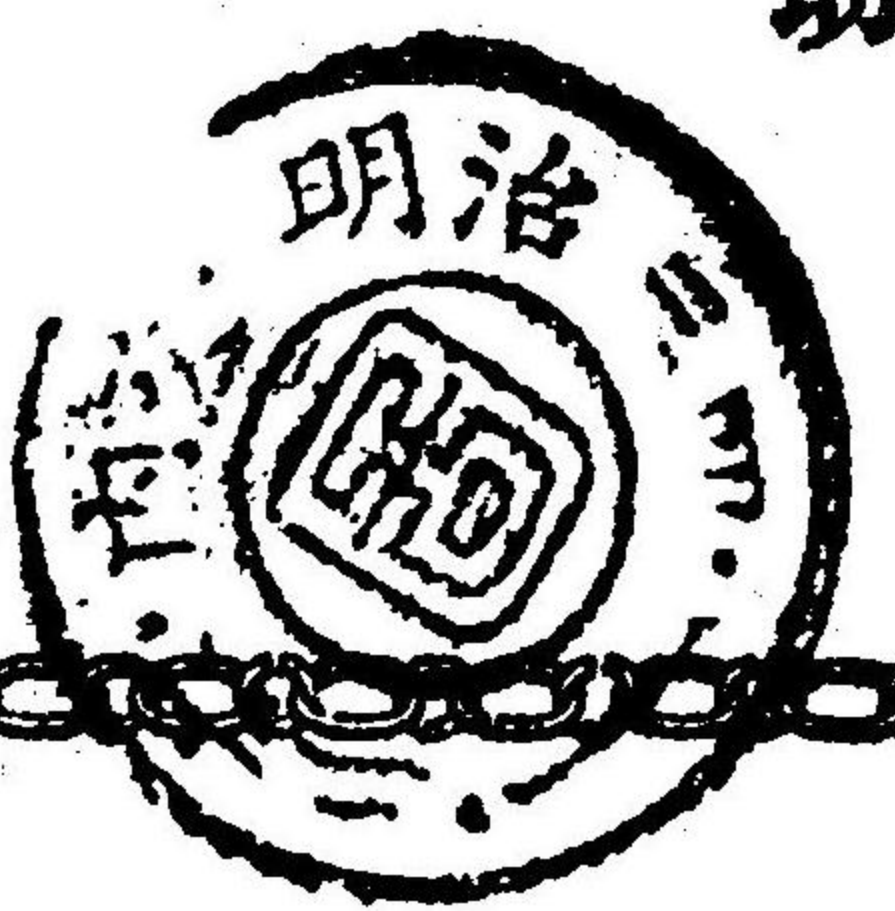
特 66
43



海軍少佐 溝口武五郎君 西野秀吉鈔著
教育主任海軍大尉 渡邊眞吾君 合開 花田芳藏贊助
海軍上等兵 曹肥後 武文君 小川虎之助贊助

問 答 全

橫須賀軍港堂發兌



本編ノ主旨

世が開明ニ進ムニ從ヒマシテ吾人が執ル所ノ務ノ度モ
着々其歩ヲ進メ今日ノ古キヲ捨テ明日ノ新シキヲ採ルト
云フ様ナ趨勢デ中々小成ニ安ンジテ居テハナラヌ秋トナ
リマシタノハ何ヨリ悦バシキコトデアリマス中ニモ一層
歡バシキコトハ我海軍ノ進歩デアリマス吾々が入團致シ
マシタ當時ヲ顧想致シマスト誠ニ幼稚ナモノデアリマシ
テ教育材料トシテ目ニ留マル者モアリマセズ又精神教育
ト言フ様ナコトハ遂ニ耳ニ致シマシタコトモ御座キマセ
ズ音々運用術ノミニ止マルト言フ様ナ有様デアリマシタ
然ルニ僅々二三ノ表葛ヲ經マスルト砲術練習所、水雷術

練習所、機關術練習所、船匠術練習所、兵器工練習所其他種々ノ練習所ヲ開設セラレマシテ誠ニ難有時勢ニ遷リ教科用ノ書類ハ固ヨリ精神教育ノ資料トナルベキ書類ガ續續發刊セラレ茲ニ於テ吾々軍人ノ志操ガ一變シテ參リマシタ所ガ種々ニ發刊セラレマス書類ガ兎角高尚優美ニ出來テ居マシテ吾々如キ淺薄ナル學識ノモノニハ了解シ兼ねマシテ遂ニハ貴重ノ書物ヲ放置シテ反古ニスルト言フ様ナ傾キガ至ツテ多ホ御座キマス故ニ本書ノ主眼ハ簡易ニシテ會得シ易キ少數ノ問答ヲ抄撮致シマシテ後進者ノ便覽ニ供シタキ誠心カラ居常顛沛シテ習ヒ得マシタ處ト書物ニ因ツテ會得致シマシタ數項ヲ漠然タル問答トシマシテ茲ニ冗輯シタ次第デアリマス請フ讀者幸ヒニ諒ヲ垂レ賜ヘ

明治三十四年六月初稿

選 輯 者

軍人問答

軍人ノ名譽

ホマレ

問

軍人トハ如何

答

掛卷コケマキノモ畏カカシキ 我天皇陛下ニ隸屬レイソクシ國家ノ干城カンシヨト仰ガレ名ヲ後

世マデ遺スユヅノ出來マスル誠ニ名譽アル人ト成レルノデアリマス

問

軍人ノ名譽下ハ如何

答

畏カカシヨクモ 我天皇陛下ヲ大元帥ト仰フギ奉ルマツル 帝國ヲ護ル重キ任

務ヲ負フツク 我國民ヲ代表スル身分トナルナルル 身體ノ健全無缺ムクツクナルル 實ニ

無上ノ名譽デアリマス

問

軍人國事ニ殉スレシ時其死後ハ如何

答

靖國神社ニ祭ラレ一年二回敕使ヲ以テ大祭ヲ行ハレ勇魂ユウコンヲ慰サメラレ

マスマコト 洵ニ芳名カシバシキナヲ千古ニ傳ヘ國ノ人が欽アガメ慕シタフテ實ニ無上ノ名譽デアリ

マス

問 勳章ヲ叙賜セラレタル者ハ如何

答 拔群ノ軍功若クバ勳功在ルモノニ賜ハリ帶勳者ト稱セラル、名譽ハ洵ニ至大ナモノデアリマス

問 軍人戰場ニ於テ拔群ノ武功ヲ奏シタル時ハ如何

答 衆ニ挺ンデ、勇敢ナル勳作ヲナシ能ク上官ノ命令ヲ確守シ顯著ナル功ヲ奏シマシタ者ニハ金鷄勳章ヲ賜ハリ其名譽ハ永ク後世ニマデ傳ハリマス

問 然ラバ從軍記章ハ如何

答 戰勝ノ役ニ從軍致シマシタ者ニ紀念トシテ賜ハリ從軍者ト稱セラレ其名譽ハ又格別デアリマス

問 軍人賞典若クハ賞詞ヲ賜ハラバ如何

答 是又無上ノ名譽デ在リマス故ニ平常品行ヲ慎ミ何事モ衆ノ模範トナル

様ニ勉メネバナリマセヌ

問 軍人射撃術ニ優等ナル片ハ如何

答 優等射手ノ等級ヲ與ヘラル、ノミナラズ徽章ヲ賜ハリ殊ニ艦砲懸賞射撃ニ於テ二回優等射手ヲ與ヘラル、片ハ誠ニ名譽アル所ノ徽章ヲ賜ハリマス

問 拔擢進級試験ヲ受クルモノハ如何

答 數千人ノ中ヨリ特殊ノ技能ヲ有スルモノヲ拔擢サレルノデアリマス故ニ平常勉勵シテ斯ル至大ノ名譽ヲ受クル様ニ心懸ケ子バ成リマセヌ

問 練習生ニ拔擢セラレタル者ハ如何

答 衆人ノ中ヨリ撰バレマシテ練習生ヲ命ゼラレ志操ヲ研クト共ニ其教程ヲ修メ卒業ノ曉キハ特科兵ト稱セラル、所ノ名譽ヲ肩ニスルノデアリマス

軍人ノ赤心 「マゴ、ロ」

問 軍人ノ精神トハ如何

答 御勅諭ノ五箇條デアリマス而シテ此五箇條ハ軍人タル者寸時モ忘レテハ成リマセヌ

問 命令トハ如何

答 畏クモ 天皇陛下ヨリ下シ賜ハル御命令デアリマス故ニ上官ヨリ下ル御命令ハ彼是思フタリ言フタリシテハ成リマセン誠ニ難有御訓ヘデ在リマス

問 訓令トハ如何

答 上官ヨリ下ル所ノ訓ヘデアリマス故ニ苟且ニ思ツタリ又此訓ヲ等閑ニシテハ成ラヌ誠ニ難有訓ヘデアリマス

問 訓示トハ如何

答 上官ヨリ下級ノモノニ訓ヘテ示メシテ下サルノデアリマス故ニ此訓示ヲ授ケラレタ上ハ其通りニ行ハネバ成リマセヌ

問 報告トハ如何

答 上官ヨリ命ゼラレタル任務ニ對スル結果ヲ申上グル謂デアリマス而シテ報告ヲ爲ス片ハ簡單ニシテ誤解ノナイ様ニ申上ケネバ成リマセヌ

問 軍紀トハ如何

答 日常法則及規則ヲ嚴守シ上官ヨリ下ル處ノ命令及號令ハ直チニ服従シテ確實ニ行ヒ盡クスヲ申シマス

問 風紀トハ如何

答 艦團校隊内ニ在ルト其外ニ在ルトニ拘ラズ品行ヲ慎ミ服裝ヲ整正シ決シテ軍人タル態度ヲ失ハザルヲ申シマス

問 紀律トハ如何

答 軍紀風紀ヲ維持シ何事モ確實ニ遺漏ナク行ハレル事ヲ申シマス

問 服従トハ如何

答 上官ヨリ下ル處ノ命令及號令ヲ受ケタル片ハ自分ノ思考ヲ後トニシテ

誠心ヲ以テ直チニ行フヲ申シマス

問 上官ヨリ受ケタル命令ヲ尋問スルヲ得ルカ

答 命令ノ意味ガ充分ニ解リマセヌ時ハ些カモ抵抗ノ意ナク謹デ尋ヌルヲハ出来マスガ其外ニハ決シテ出来マセヌ

問 軍人ノ最モ慎ムベキ事ハ如何

答 遊蕩、賭博ヲ第一ニ慎マネバナリマセヌ若シモ之ヲ犯シマスト軍紀風

紀ヲ紊ス罪人トナリ自分一身ノ耻辱デナク父母兄弟マデノ面ヲ汚ゴシ剩サヘ他人ニ交ハルヲ出来ナクナリマス

問 軍人ハ金錢ヲ浪費シテ宜キヤ

答 眞ノ軍人タル義務ヲ盡クサンニハ質素ヲ旨トシ己レノ分限ニ超ユル金

錢ヲ遣フタリ郷里ヨリ金錢ヲ取寄セタリシテハ成ラヌ事デ在リマス

問 軍人々民トノ交際ニハ如何ナル人ヲ撰ブカ

答 第一誠實ナル人ヲ撰ビマス若シ身分職業性質等ヲ知ラズニ交際致シマ

スト己レノ本分ヲ忘レ軍人ノ徳義ヲ亂ダス様ナクニ成リマス

問 軍人自殺スレバ如何ナル耻アルカ

答 帝國ノ重任ヲ負フ軍人が自殺ヲ爲サバ世人ノ笑ヒヲ受クルノミナラズ

悪名ヲ後世ニ遺スモノナレバ自殺ハ人間愚ノ極マリデアリマス

問 軍人ノ本分トハ如何

答 常ニ御勅諭ノ五箇條ヲ精神トシテ戰場ニ於テハ勇敢ナル動作ヲ以テ他

兵ノ模範トナリ潔ヨク血ヲ流シテ原野ニ屍ヲ晒ラスヲ本分トシマス

問 軍人眞ノ武勇トハ如何

答 常ニ素行ヲ慎ミ他人醉狂シテ争鬪ヲ爲スモ耻ヲ忍ンデ其場ヲ避ケ戰時

ニ當テハ鬼ヲモ挫ク勇氣ヲ出シテ勞働スルヲ眞ノ軍人ト申シマス

問 兵役ヲ嫌ヒ又ハ私情ノ爲メ逃去スレバ自己一人ノ害ニ止マルモノカ

答 兵役ハ世ニ血稅者ト稱シテ男子ノ名譽ナル義務デアリマス斯ル名譽ノ

兵役ヲ嫌ヒ又ハ私情ニ驅レテ逃走スレバ第一祖先ヲ辱カシメ同輩ト交

ハルノ權利ヲ失ヒ生涯世ニ立ツ_レガ出來マセヌ

問 軍人ニ大切ナルモノハ如何

答 武器デアリマス此武器ハ自己ノ身ヲ護リ又敵ニ損害ヲ與ヘ殊ニ吾々ノ魂トシテ重愛セナケレバ成ラヌ海ニ大切ナ者デアリマス

問 軍人外ノ者ニ對シテハ如何

答 官吏ト人民トニ拘ラズ温和ヲ第一トシ兵器ヲ以テ脅シタリ又粗暴ノ舉動ヲシテハ成リマセヌ沈重ニシテ益々世人ノ敬愛ヲ受クル様ニ心懸ケネバ成リマセヌ

軍人ノ舉動 「フルマイ」

問 軍隊ノ規律ガ嚴格ナルト否トハ何ニ依テ知り得ルカ

答 敬禮ノ正否ニ依テ直チニ知レマス抑モ敬禮ハ軍隊規律ノ基礎デアリマス故ニ敬禮ヲナス片ハ充分ニ意ヲコメテ行ハネバ成リマセヌ

問 充分ニ敬禮ノ意ヲ盡クスト否トハ何ニ依テ知ルカ

答 發禮者ノ頭ト眼ニ依テ知レマス故ニ舉動ヲ確實ニ行ヒ十分敬意ヲ表シテ受禮者ノ方ニ頭ヲ旋ラシ注目致サネバ成リマセヌ

問 軍人君ガ代ノ奏樂ヲ聞ク片ハ如何

答 時ト場合ヲ問ハズ直チニ起立シテ姿勢ヲ正シ充分敬意ヲ表シ奉リマス

問 途上ニ於テ上官ニ逢フ時ハ如何

答 六歩前ニ於テ姿勢ヲ正シ三步前ニ於テ停止シ敬禮ヲ行ヒ其過キ行カルルヲ待ツテ行進致シマス

問 室内ニ於テノ敬禮ハ如何

答 室内ニ入ラントスル時ハ戶外ニ於テ輕ク戸ヲ打チ應答ヲ得テ帽ヲ右手ニ取り戸ヲ開キ内ニ入り體ノ上部ヲ僅カニ傾ケ眼ヲ受禮者ニ注イデ敬禮ヲ致シマス

問 下士以下相互間ノ敬禮ハ如何

答 停止スル_レナク自分ヨリ上級ノ者ニハ已レヨリ先キニシテ敬禮ヲ交換

致シマス若シ自分ヨリ下級ノモノガ敬禮ヲ怠タリマシタ時ハ直チニ制シテ遣リマス

問 狹隘ナル道路ニ於テ上官ニ遇フ時ハ如何

答 自分ハ道路ノ一側ニ倚ツテ上官ニ途ヲ讓リ若シ至急ノ公務ヲ帶ヒタル時ハ其旨ヲ申告シテ通り過ギマス

問 然ラバ階段等ニ於テ遇フハ如何

答 前ト同様ニ致シマス決シテ私用ノ爲メニ通り過グルト言フ様ナリテ致シテハ成リマセヌ

問 上官下士以下ノ居室へ來ラレシハ如何

答 其内ノ先任ノ者ハ直チニ氣ヲ附ケト令シ殘ラズ起立シテ敬禮ヲ致シマス若シ先任ノ者ニ於テ上官ノ來ラレシトニ氣ノ著カザリシハ下級ノモノデモ先キニ氣ノ著キシ者ガ氣ヲ附ケト令シマス

問 敬禮ヲ區別スレバ如何

答 舉手注目ノ敬禮、室内ノ敬禮、軍隊ノ敬禮、及ビ端舟ノ敬禮等ニ區別シテ在リマス故ニ其細則ハ海軍敬禮式ト稱スル書物ニ依テ記臆シ決シテ缺禮ヲ致サヌ様心懸ケネバ成リマセヌ

軍人ノ箴警 「コ、ロチツケル」

問 眞ノ軍人ト成ランニハ如何ナル心懸ケチナスカ

答 軍事教育ニ依テ獨斷ニ慣レ己ニ克ツノ精神ヲ固クシ勞働ニ堪ヘ戰鬥働作ヲ覺ヘルトナリ心懸ケマス

問 故參ノ兵ハ居常如何ナル心懸ケチナスカ

答 何事ニ依ラズ善キ摸範ヲ示メシ兄弟ノ如ク叮嚀ニ新兵ヲ誘掖シテ遣ル心懸ケ持タネバナリマセヌ

問 軍人上官ノ危難ヲ見ル時ハ如何

答 平時ト戰時ニ拘ハラズ公務ト心得己レノ身ヲ棄テ援フコトナカメマス
問 軍人敵地ノ人民ニ對シテハ如何

答 我國民同様ニ撫ハリ物品ヲ買フ時ハ金ヲ遣リ殊ニ老人子供婦人等ニ對シテハ殊更ラニ親切ニ取扱ツテ遣ラネバ成リマセヌ

問 軍人上官ヨリ譴責ヲ受クル様ナ不心得ヲナシテ宜シキヤ

答 決シテ譴責ヲ受クル様ナ不心得ヲシテハ成リマセン亦タ懇篤ナル教育ニ與カリマシタ高恩ヲ忘却スル様ナ心得違ヒテハ成リマセヌ

問 戰場ニ於テ負傷セシ時ハ如何

答 假令ヘ重傷デモ戰友ノ看護ヲ辭ハリ又タ輕傷ナル時ハ堪ヘ得ルマデ戰鬪ヲ續ケマス

問 戰場ニ於テ卑怯ナル舉動ヲ爲セバ如何

答 故意的ニ戰鬪ヲ避クル者ト見做シ事情ニ依ラバ其場ニ於テ銃殺又ハ斬殺ノ耻ヲ受クルモノデアリマス

問 戰場ニ於テ他人ノ摸範ト成ランニハ如何ナル動作ヲナスカ

答 彈丸雨ノ如ク來ルモ劍尖閃クモ頓著セズ其間ニ在テ部隊長ノ指揮ニ從

ヒ依然トシテ生命ヲモ顧ミズ元氣ヲ養ツテ軍紀ニ服從致シマス

問 劇戰ニ於テ志氣ノ挫ケシ時ハ如何

答 層一層ノ勇氣ヲ出シ倒レテ後チ止ムマデ奮ツテ戰鬪致シマス

問 戰場ニ於テ家族ヲ顧フ時ハ如何ナル害有ルカ

答 第一動作ガ卑怯トナルノミナラズ汚名ヲ受ケ却ツテ家族ノ和樂ヲ害スルニ至リマス

問 軍人戰場ニ於テ家族ヲ顧ミテモ宜シキモノカ

答 決シテ顧テハ成リマセヌ唯々一圖ニ國家ヲ思フノ精神ヲ以テ生テ歸ラズト云フ覺悟デ戰鬪致サ子バ成リマセヌ

問 戰場ニ於テ部隊長ノ命令ニ反シ功名ヲ奏スルヲ其トスルカ

答 命令ニ反スレバ假令功ヲ成スモ服從ノ義務ヲ缺キ剩サヘ軍隊ノ力ヲ減ズルニ至リマス故ニ必ラズ協同動作ヲ以テ戰鬪ニ當ラネバ成リマセ

ヌ

問 敵ノ死傷者又ハ捕虜ニ對スル取扱上如何

答 戰爭ハ敵ヲ懲ラス爲メ最後ノ手段デアリマス故ニ敵ノ死傷者又ハ捕虜ニ對シテハ慈愛ヲ加ヘテ鄭重ニ取扱ヒ以テ我帝國ノ光輝ヲ揚ケルコトヲカメマス

問 戰鬪中指揮者ヲ失ヒシハ如何

答 戰鬪中勇敢ナル者ノ動作ニ準ヒ己レモ又率先シテ戰友ヲ勵マシテ戰鬪ヲ續ケマス

問 敵ヲ見出ストト自身ヲ掩フコトハ何レヲ先ニスルカ

答 敵ヲ見出ストト先キニシ次ニ自分ノ身ヲ隠クシテ敵狀ヲ窺ヒマス

問 敵前ニ於テ速歩ノ步調ヲ取ルハ何故カ

答 敵ニ我軍々紀ノ嚴ナルヲ示メシ勇躍ナル姿勢ヲ取テ再ビ退却セザルコトヲ表示スル爲メデアリマス

問 戰鬪中死傷セシモノヲ我レ勝手ニ運ブコトヲ得ルカ

答 死傷者ヲ取扱フハ担架隊ノ任務デアリマス故ニ勝手ニ手ヲ附ケルコトハ出來マセヌ

問 獨斷專行トハ如何

答 散開戰鬪中停止スレバ速カニ地物ヲ利用シ又指揮者ノ絶ヘタルハ自ラ距離ヲ目測シ射撃速度ヲ定メ亦タ死傷者ノ彈藥ヲ取ツテ射撃スル等ヲ申シマス

問 著剣ノ時機及ビ其方法ハ如何

答 銃劍突撃ヲ行フ稍々前ニ於テ著剣ス然レモ射撃ヲ絶タヌ様交番ニ著剣スルコトガ肝要デアリマス

問 敵火ノ下ニ在テ駈歩ヲナス時機ハ如何

答 敵ニ接近シテ猛烈ナル射撃ヲ被ムルハ、一地ヨリ他ノ一地ニ移ツルハ隘路ヲ通過スルハ及ビ銃劍突撃ヲナス場合等デアリマス

問 戰鬪ノ喧噪ナルニ從ヒ指揮號令ノ聞ヘザルニ至リシ時ハ如何

答 能ク指揮者ノ方ニ注意シ劍又ハ小笛或ハ記號ニ從ツテ進退動作ヲ致シマス

問 戦闘ノ初メニ於テ彈藥ヲ貯ヘ置クハ何故カ

答 各自携帶スル處ノ彈藥ニハ限りガアツテ吾々生命トモ云フベキ程ノ貴キモノデ在リマス故ニ愈接近シテ勝敗ノ別ル、片ニ及ンデ猛烈ナル射撃ヲ成サン爲メデアリマス

問 敵ニ向ツテ前進中勝手ニ停止シテ宜シキヤ

答 敵ノ射撃ヲ被ムリ我隊ニ許多ノ損害ヲ受クル共命令若クバ號令ノナイ以上ハ決シテ隨意ニ停止スルコトハ出來マセヌ

問 捕虜ヲ護衛スル片敵襲ニ逢ハヤ如何

答 捕虜ガ加勢スルヲ防グ爲メ伏臥セシム若シ之ヲ肯ゼザル時ハ射ヲ殺シテ後チ其由シテ報告シマス

問 騎兵ノ襲撃ニ對スル片ハ如何

答 假令己レ一人ニテモ生命ヲ顧ミズ沈著シテ射撃スレバ二三ノ騎兵ヨリ優ルモノデアリマス

問 戦勝ノ後チハ如何ナル用意ヲナスカ

答 戦勝後如何ニ疲勞スルモ追撃射撃ヲ終ルマデハ自若トシテ勇氣ヲ養ヒ飛出ス覺悟ヲシテ居リマス

問 射撃軍紀トハ如何

答 命令及ビ號令ヲ確實ニ行ヒ銃ノ取扱ヒヲ最モ鄭重ニシ彈藥ヲ節用シ指揮者ノ小笛若クバ劍尖ニ注意シ終始敵方ニ著眼シテ極多精神ヲ沈著シ以テ射撃スルコトヲ申シマス

問 行軍中ノ軍紀トハ如何

答 第一隊伍ヲ亂ササルヲ服裝ヲ整ヘ疲勞ヲ忘レテ勇氣ヲ保ツコト據ナク一時隊ヲ離ル、時ハ隣兵ニ銃ヲ托シテ用ヲ辨ズルコト等ヲ申シマス
問 然ラバ行軍中休止ノ時ハ如何

答 假令休止ノ時間ト雖モ飲食店ハ固ヨリ無用ノ人家ニ立チ入ツタリ又雜

談高聲ヲ發スル等ハ大ノ禁令デ在リマス

問 夏期行軍中特ニ慎ムベキ要件ハ如何

答 井水若クハ泉水ノ外ハ決シテ生水ヲ飲マザルヲ相成ルベク一度煮沸

シタ茶湯ヲ用フルヲ如何ニ渴スルトモ溜水及ビ小川ノ水ヲ飲マザルヲ

ガ一番肝要デアリマス

問 寒地行軍ノ時注意スベキ件ハ如何

答 凍傷ヲ防グヲガ一番肝要デアリマス故ニ上官ノ訓誡ヲ守リ手足耳鼻ヲ

能ク豫防スルヲニ注意シマセヌト之ガ爲メニ大事ノ戦闘ニ與カルヲガ

出來ナク成リマス

問 行軍ノ時ハ何チ一番大切ニスルカ

答 足部ヲ何ヨリ大切ニ致シマス故ニ休止ノ片ハ足ヲ能ク拭ヒ指ノ股ヲ清

潔ニシ靴下ノ砂ヲ掃ヒ又ハ穿キ換ヘ靴ニハ薄ク肪ヲ塗り固ク成ラヌ様

ニ致シマセヌト水腫ガ出來テ遂ヒニハ行軍ニ從事スルヲガ困難ニ成リ

マス

問 戰地ニ於テ用フル書翰袋ニハ如何ナル符號ヲ附シアルカ

答 要旨ニ依テ其緩急ヲ知ラシムル爲メ書翰袋ニ(十)ハ速歩(十十)ハ速歩

ト駈歩ヲ取リ(十十十)ハ距離ノ近キ片成シ得ル限りノ駈歩ヲ取ラシム

ル如ク符號ヲ附ケテアリマス

問 炎熱ノ時若クハ道路險惡ナル時ハ行軍隊形ヲ如何ニナスヤ

答 二列ツツ左右ニ別ケテ中間ヲ空虚ニシテ道路ノ兩側ヲ通行スル如ク部

隊長ガ指揮シテ成レマス

問 都府若クハ市街ヲ行軍スル時ハ喇叭ヲ吹奏シ且ツ隊形ヲ整正スルハ何

故カ

答 軍隊ノ容儀ヲ正スト共ニ威權ヲ見セルノデアリマス故ニ長途行軍ニ於

テ如何ニ疲勞スルモ勇氣ヲ勵マシテ整々堂々トシテ通過セ子バ成リマ

軍人ノ催花 「ハナガサキカケル」

問 警戒行軍トハ如何

答 不意ニ敵ト衝突セシ片我隊ニ損害ヲ被ムラザル爲メ用心シテ行軍スル
ト申シマス

問 警戒行軍隊形ニ於テ部隊ヲ小部隊ニ區別スルハ何故カ

答 突然敵ト衝突セシ時又ハ敵ヲ攻撃セントスル時敵ニ向テ側面行進ヲ成
サシメズ斜行進ヲ以テ逐次ニ正面ニ展開セシメンガ爲メデアリマス

問 何故ニ側面行進ヲ成サマルヤ

答 側面行進ニ於テ敵彈ヲ受クル片ハ其一彈ノ爲メニ數人ヲ斃スノミナラ
ズ各自ノ動作ガ自由ナラズ夫レガタメ我隊ニ損害ヲ被ムルト多ホキガ
故デアリマス

問 然ラバ戦闘開始ノ片ハ如何ナル隊形ヲ以テ行進スルカ

答 横隊若クバ散開隊形ヲ以テ行進スルモノデアリマス何トナレバ各自
ノ動作ガ意ノ如ク成ルノミナラズ敵彈ヲ被ムルトモ其損害ヲ受クルト
ガ少ナフ御座イマス

問 散開トハ如何ナル隊形カ

答 廣ク横列トナリ各自隣兵ノ間ニ一二歩ノ間隔ヲ存シ遮蔽物ヲ利
用シテ疎散ナル自由の姿勢ヲ以テ行進スル隊形ヲ申シマス

問 夜間ノ行軍ニ於テ特ニ注意スベキ事ハ如何

答 夜間ハ音ノ響キ易キ者デ在リマス故ニ談話ハ固ヨリ喫煙ヲ禁ジ極メテ
靜肅ニシテ行軍スルトニ注意致シマス

問 警戒行軍ニ於テ部隊ヲ何小部分ニ區別スルカ

答 警戒隊ノ部署ハ一定シテハアリマセヌ然レモ通例本隊、前衛本隊、
前衛前兵、前衛尖兵ニ區分シテ本隊ノ前方ヲ警戒スル任ニ充テ在リ
マス

問 然ラバ本隊ノ後方ヲ警戒スル部隊ハナキヤ

答 本隊ノ後方ハ後衛本隊アトノホウチマモル後衛及ヒ後衛尖兵ヲ以テ警戒スル任ニ充テ在リマス

問 然ラバ各小部隊間ニ存スル距離ハナキモノカ

答 各小部隊間ノ距離ハ大約定メテアリマス然レモ其距離ハ我軍ノ目的、兵數、敵軍ノ狀況アリサマ及ヒ地形ニ應ジテ種々イロイロニ變化スルモノデアリマス

問 前衛ト稱スル部隊ハ如何

答 前衛ハ前衛本隊、前衛前兵、前衛尖兵ニ區分シ前衛本隊ヨリ前衛前兵ヲ出シ前衛前兵ヨリ前衛尖兵ヲ出スモノデアリマス

問 前衛ノ任務ハ如何

答 前衛ハ不意ニ起リシ敵襲ニ對シ本隊ヲ掩護オホイマモルスルノ任ニシテ敵小部隊ナル時ハ敢テ之ニ力ヲ注ガズ意ヲ決シテ前進ヲ力メマス

問 前兵ノ任務ハ如何

答 敵ト衝突セシツキアタリ片前衛本隊ヲシテ戰備イケンサノレタケヲ爲スベキ猶豫ウカシヲ與ヘ且ツ土地ノ偵察及ヒ尖兵ノ援隊チカラヲツケルトナルベキ任務ヲ負フモノデアリマス

問 尖兵ノ任務ハ如何

答 尖兵ハ僅カニ三名乃至四名ノ兵ヨリ成ル小部隊ニシテ勉メテ早ク敵ヲ發見シ且ツカメテ敵ノ目ニ觸レザル如クシテ種々ノ徵候キョウコウニ注意シ敵ヲ發見シタル時ハ其兵種、兵數及ヒ行進方向ヲ確メテ之ヲ特ニ定メラレタル記號ニ依テ報告ス之ガ爲メ一意專心イチケツシキコ、ロチコメテ搜索スルノガ第一ノ任務デアリマス

問 尖兵波狀地若シクハ隘路ニ遭遇セシ時ハ如何ナル方法ヲナスカ

答 波狀地ニ至ラバ必ラス頂界線イタマキノキリノ後方ニ止マリ其前方ヲ視察シ他ノ一名ハ稍々スコン後方ニ止マリ異狀ナキ時ハ更ニ前進ス隘路ニ在ツテハ本隊ノ其地ニ至ルニ先チテ決意イチケツシス、ミイリ進入シ迅速ニ出口ノ附近ヲ搜索シ尖兵悉ク通過スルヲ待チテ行進ヲ續ケマス

問 尖兵橋梁、渡船場及堤防ノ如キモノニ遭遇セシ時ハ如何

答 橋ノ下及ヒ橋柱ヲ檢シ破壊ノ準備ノアルヤナキヤ又渡船場、堤防等

ニ在テハ敵ノ通過シタル跟跡ハナキヤニ注意シテ之ヲ通過シ前方ノ地

ヲ搜索シ然ル後チ本隊ヲ通過セシムルモノデアリマス

問 尖兵森林ノ附近ニ到リシ時ハ如何

答 其入口及側方ノ道路ニ注意シナガラ内部ニ入り速カニ出口ニ達スルコ

トチカメ又要スル片ハ林内或ハ外側ヲ搜索シマス

問 然ラバ村落ヲ搜索スル方法ハ如何

答 尖兵長ハ外部ニ在ツテ視察シ愈村落ニ近附ケバ最端ノ家屋ニ到リ住

民ヲ捕ヘ之ニ敵狀ヲ尋問シ尙ホ數人ニ質問シ之ヲ村端マデ引致シ異

狀ナキ時ハ之ヲ放チ遣リマス

問 尖兵夜間村落ニ近附ケバ如何ナル方法ヲ以テ搜索スルカ

答 先ツ最端ノ家屋ニ潜行シテ動靜ヲ窺ヒ然ル後チ要スレバ住民ニ質問シ

或ハ又其一名ヲ引致シツ、搜索シマス

問 尖兵村落内ニ於テ特ニ意ヲ用ヒテ搜索スベキ箇所ハ如何

答 先ツ各道路上ニ兵ヲ配備シ置キ以テ寺院、學校、役場、停車場等ヲ嚴

密ニ搜索致シマス

問 後衛ノ任務ハ如何

答 後衛ハ本隊ノ後方ヲ警戒シ以テ敵ノ追撃ヲ被ラザル様本隊ヲ掩護ス

ルノ任務デアリマス

問 敵ト接近シテ少時間休止ヲナス場合ニハ如何ナル警戒法ニナスヤ

答 時ハ狀況ニ依ルト雖モ通例警戒行軍ノ隊形ヲ以テ足リマス然レモ地形

ニ依リ要スル片ハ歩哨ヲ配備シ後衛ハ轉回シテ本隊ノ後方ヲ警戒シマ

ス

問 斥候ノ有スベキ性能ハ如何

答 機敏、熱心、沈著、剛膽デナケレバナリマセヌ

問 斥候ノ任務ハ如何

答 敵ノ動靜ヲ視察シ且ツ搜索ヲ中絶セラレザルヲ勉メ戦闘ハ成ルベク避ケ以テ其狀況ヲ具ニ報告スルノ任デアリマス

問 斥候村落ニ入ルルノ動作ハ如何

答 斥候長自ラ先ツ最端ノ家屋ニ到リ數人ヲ集メテ尋問シ其内ノ一名ヲ捕ヘ警戒ヲ加ヘテ村落内ニ入り異狀ナキ時ハ之ヲ放チ遣リマス

問 斥候歩哨線ヲ通過スルル片ハ如何ナルヲ注意シ置クヤ

答 歩哨ニ敵狀ヲ聞キ己レガ受ケタル命令ヲ告グ記號ヲ特約シ又行クベキ方向ヲ示メシ且ツ往復ノ道路ヲ告グ歸ル時方向ヲ失ハザル爲メ見得易キ目標ヲ定メテ置キマス

問 斥候報告ヲナス片前後左右等ノ語ヲ用ヒテモ可ナルヤ

答 前後左右ノ語ハ多ク間違易キモノナレバ相成ルベク東西南北等ノ語ヲ用フルヲ良シトシマス

問 斥候燎火ノ消跡有ルヲ見タル片ハ如何

答 僅少ナレバ土民ニ聞キ澤山ナレバ敵ノ露營セシモノト考察シテ搜索ヲ一層嚴ニ致シマス

問 斥候橋梁ニ遭遇セシ片ハ如何

答 橋梁破壊ノ仕掛ナキヤ又電纜ヲ引テハナキヤ巨細ニ見マス

問 斥候森林ヲ通過スル片ハ如何

答 森林ノ大ナル片ハ暗夜ト同様ニ心得銃劍ヲ著ケ駈歩ヲ爲サズ伏兵ノ恐れヲ考ヘ一人ハ林縁ノ方ヲ通過シ若シ横道アヲバ他兵ノ出ヅルヲ待チ合セ警戒ヲ加ヘテ通過シマス

問 斥候詐ハリノ報告ヲナシ又ハ命令ヲ詐ハリ傳フル片ハ如何

答 戦時ナレバ重刑ニ處セラレマス故ニ見聞シタコトハ實際ニ寫ス如ク言ヒ現ハストガ何ヨリ緊要デ在リマス

問 斥候敵ヲ發見セシ片ノ動作ハ如何

答 直チニ地物又ハ人家ニ隠レテ敵眼ニ觸レザル様ニシテ敵ノ兵種、兵數及ビ行進ノ方向ヲ確メテ之ヲ報告致シマス

問 斥候伏兵タラントナ知ルニハ何ニ注意スルカ

答 通例伏兵ハ僅少ナル兵數ヲ以テ一隊ヲナシ身ヲ掩クシ別哨若クハ複哨ヲ出シ監視サセテ居ルモノデ在リマス

問 傳令書翰ノ命令ヲ敵ニ掠奪セラレントスルハ如何ナル手段ヲ取ルヤ

答 寸斷ニ破ルカ又ハ咬ミ込ミマス亦猶豫ガアレバ發射シテ熱キ棄テ決シテ敵ニ渡シマセマ

問 傳令ハ其任務ヲ果ス爲メ危險ヲ冒シテモ近路ヲ取ルカ

答 傳令ノ任務ハ誠ニ重キモノデアリマス故ニ迂回シテモ指命サレタ路ヲ往復シ成ルベク危險ヲ避ケマス

問 河ノ右岸左岸トハ如何

答 河下ニ向ツテ右方ハ右岸左方ヲ左岸ト稱シマス

問 駐軍警戒勤務トハ如何

答 敵ニ近接シテ駐軍スル時ハ其部隊ノ幾分ヲ警戒ノ任ニ充テ絶エズ守衛セシメテ敵襲ニ備ヘ殘餘ハ休止セシムル如クスルノデアリマス

問 然ラバ其隊ヲ如何ニ區分シテ警戒セシムルヤ

答 通例前哨ヲ以テ警戒シマス而シテ之ヲ大哨、小哨、步哨等ニ區分シテ警戒ヲ分擔サセテアリマス

問 前哨ヲ配備スルハ何故カ

答 軍隊ガ敵ノ近傍ニ在テ駐止スルハ適當ノ警戒ヲ加ヘ敵襲ニ際シテ戰鬪準備ノ速成ナルヲ要スル爲メデアリマス

問 前哨ノ任務ハ如何

答 專ラ敵狀ヲ察シテ敵襲ニ備ヘ警戒ヲ擔任シ之ニ依テ本隊ヲ安息セシムルノ任務ニ充テアリマス

問 前哨ノ兵數ハ如何

答 通例銃隊人員ノ四分ノ一乃至三分ノ一ノ人員ヲ以テ之ニ充テ駐軍時間ノ長短ニ依テ交代スル如クシテアリマス

問 前哨ハ大哨、小哨、步哨ノ三部隊ニ區分スルノミカ

答 時ノ狀況ト地形トニ依テ分哨及ヒ查衛ヲ配備シマス

問 大哨ノ任務ハ如何

答 小哨線ノ中央後ニ在テ敵眼ヲ避ケ且ツ抗戰ニ適スル要地ニ位置シ異狀アル時ハ直チニ進發シ小哨ヲ援助スルノ任デアリマス

問 小哨ノ任務ハ如何

答 警戒地區ノ中央後ニ位置シ敵眼ヲ避ケ敵ノ來襲ニ際シテハ之ヲ擊退シ以テ休止ノ部隊ヲ安息セシムルノ任デアリマス

問 小哨ノ特ニ慎ムベキ事ハ如何

答 高聲ヲ發セザル、談話ヲナサザル、逃走セザル、銃ノ附近ヲ離レザル、及ビ散開準備ニ油斷セザルヲ心ニ懸テ居リマス

問 步哨トハ如何

答 通例一ツノ守地ヘ六名ツ、配備シ之ヲ三直ニ區分シ一直ニ二名ツ、守地ニ出シ絶エズ敵軍ノ狀況ヲ監視セシムル爲メ三箇所若クハ四箇所ニ配備シテアリマス

問 步哨ノ任務ハ如何

答 守地ニ在テ一名ハ靜哨トナリ絶エズ敵方ヲ監視シ他ノ一名ハ動哨トナリ隣步哨ト連絡ヲ取リツ、敵方ヲ注視シ敵ニ關シ發見シタルハ小哨長ニ報告シ若シ急ヲ要スル場合ニハ數回發射ヲナシテ之ヲ警報スルノ任デアリマス

問 分哨ノ任務ハ如何

答 分哨ハ小哨ヨリ分遣セラレ其任務ハ步哨ノ任務ヲ擴張スルニ在リ故ニ監視、警戒及ビ報告等ハ步哨ト同一デアリマス

問 然ラバ分哨ニ要スル兵數ハ如何

答 通常下士一名ト水兵三名乃至六名ニシ其一名乃至二名ハ步哨トナリ餘

ハ其交代ニ充テ特ニ重要ナル地點ニ配備スルモノデアリマス

問 時トシテハ查衛ト稱スルモノヲ配備セラル其任務ハ分哨ト同一ナルヤ

答 查衛ハ一ツノ分哨ニ等シキモノニシテ其兵數モ又殆ド同一デアリマス

然レ其任務ハ凡ベテ外來人ニ對シテ問查警戒スルノ任ニシテ通常

道路ノ附近ニ配備シテアリマス

問 步哨ノ成スベカラザル事ハ如何

答 一人ノ怠リニテ全軍ノ敗ヲ招ク様ナリガ出來マス故ニ守地ヲ離レタリ

腰ヲ掛ケテ眠リタリ煙草ヲ吸フタリ話ヲシタリ又ハ銃ヲ放置シタリス

ル一ハ決シテ致シテハ成リマセヌ

問 步哨敵ノ襲撃ヲ受クル片ハ如何ニナスカ

答 急射撃ヲナシテ小哨ニ之ヲ報ズルカ又ハ徐々ニ退キテ小哨ニ報告致シ

マス

問 步哨守地ニ在ル片敬禮ハ如何ニナスカ

答 步哨ハ監守ヲ怠ラザル爲メ假令上官ヨリ質問ヲ受クルトモ又巡邏

斥候等ヨリ諮問ヲ受クルモ敬禮ハナサズ只々一圖ニ敵方ヲ見タ儘デ應

答致シマス

問 步哨ハ逃亡セントスル者在ル片ハ如何ニナスカ

答 成ルベク捕ヘル一ヲ勉メ若シ逃走セントスレバ射子殺シテ其旨ヲ報告

致シマス

問 步哨軍使ノ來ル片ハ如何ニシテ之ヲ識別スルカ

答 通例軍使ハ隨行者ト共ニ白旗カ白布ヲ持テ喇叭ヲ吹奏シテ來ルカ亦タ

ハ記號ヲナシテ來ルモノデアリマス故ニ是等ノ形容ニ依テ知ラネバ成

リマセヌ

問 敵兵銃ヲ棄ツルカ又ハ銃ヲ倒マニシテ來タル片ハ如何ナル處置ヲナ

スカ

答 降参人ト見做シ武器ヲ殘ラズ脱ツサシメ後千之ヲ查^{ギンミスルトロロ} 衛^ハ 若クハ小哨^ニニ護送シマス若シ又乗馬シタル者ハ逃走スルヲ防グタメ腹帯^{ハラオビ}ヲ緩^{ユル}メテ之ヲ繫ギ置キマス

問 軍使若クハ降参人ヲ護送スル片ノ注意ハ如何

答 眼ヲ縛^シツテ查衛若クハ小哨ニ送リマス而シテ隨行者ハ歩哨線ノ外方ニ向ケテ置キマス

問 夜間ニ在テ歩哨ノ注意スベキ事ハ如何

答 第一ニ耳ヲ働^{ハタラ}カセ少シデモ物音ヲ聞カバ耳ヲ地上ニ著ケテ悟^{サト}ラナケレバ成リマセヌ

問 歩哨ハ夜ニ至ラバ如何ナル準備ヲナスカ

答 目ハナキモノト心得專ラ耳ヲ働カセ著劍シテ銃ニ裝填シマス

問 夜間歩哨線ニ近ツク者アル片ハ如何

答 直チニ銃ヲ構ヘ「止レ」ト呼ビ次ニ「誰レカ」ト呼ブ若シ「止レ」ト呼ブト三次ニ至ルモ猶ホ止マラザル片ハ射チ殺シマス

問 歩哨敵ヲ發見セシ片執ルベキ處置ハ如何

答 第一我身ヲ隱匿スルヲ第二銃ニ裝填シテ照尺ヲ適當ニ整ヘルヲ第三他ノ一名ノモノニ知ラシムルヲ第四確實ニ視察スルヲ第五適當ナル判斷ヲナシ之ヲ明瞭ニ報告致シマス

問 小哨配備ノ終リシ片報告ヲナス其一例ヲ述ベヨ

答 小哨ノ配備ハ全ク終リマシタ歩哨線ノ連絡ハ既ニ取レマシタ小哨ハ指定地頂界線ノ背後ニ位置ヲ占メマシタ其前方約二百米突ノ處ニ三個ノ歩哨ヲ置キマシタ其前方ハ蔽開地^{オホホシノヂキルチ}デニ千米突マデ展望スルヲガ出來マス細事^{コマカキコト}ハ後チ筆記シテ報告致シマス

問 歩哨報告ノ一例ヲ述ベヨ

答 第一步哨報告實見^シセシ件敵ノ斥候ハ何村ヨリ何村へ通ズル道路ヲ搜索^{サガ}シツ、行進シマス想像^シセシ件此敵兵ハ想フニ敵ノ枝隊ニシテ迂回^{トチマワリ}

スルモノナラン

問 斥候報告ノ一例ヲ述ヘヨ

答 第二斥候報告實見セシ件某村ノ入口ヲ隔ツル約何百米突ノ所ニ於テ突
然敵ノ步哨ニ出會ス彼レ我レヲ見ルヤ忽チ逃匿セリ依テ直チニ村内
ニ入り某方向約何米突ノ處マデ搜索スルモ遂ニ敵ヲ見ズ想像セシ件此
敵兵ハ想フニ敵ノ展望兵ニシテ其本隊ハ我ヨリ少數ナルナラン

宿營ノ威容 「イサマシキカタチ」

問 中隊下士ノ任務ハ如何

答 中隊長ノ耳目トナリ專ラ傳令ヲ以テ任トス又戦闘ニ關スル記事ヲ筆記
シ中隊人員ニ係ル即チ死傷者若クハ病人等ノ有無ヲ記録シテ中隊長ニ
報告スルノ任デ在リマス

問 給與下士ノ任務ハ如何

答 中隊長ノ手足トナリ專ラ彈藥及ヒ糧食ノ供給ヲ以テ任トス又戦闘ニ於

テハ豫備運彈員ヲ使役シテ豫備彈ノ補給ヲカメ宿舎ヲ要スル片ハ速
カニ之ヲ整ヘ聊カモ遺憾ナカラシメ又成シ得ル限りハ舍營地ノ略
圖ヲ作り之ヲ各部隊長ニ渡スベキノ任デアリマス

問 舍營トハ如何

答 建制ノ部隊毎ニ家屋ニ入り武器糧糶及ビ其他ノモノヲ身邊或ハ便利ノ
處ニ置キ急ニ應ズル如ク準備ヲナシ舍營當番トシテ一名ハ必ラズ舍内
ニ警戒シテ居リマス

問 舍營ニ著イタル後ニ注意シ置クベキ事ハ如何

答 第一ニ武器ノ手入ヲスルヲ靴及被服ノ手入ヲナスヲ水筒ニ湯ヲ入レテ
置クヲ集會所ヘ通ズル道路ヲ踏ジテ置クヲ及ビ本部、部隊長ノ所在ヲ
知ツテ置カ子バ成リマセヌ

問 舍營中舍主ニ對シ苦情ヲ訴フルヲ得ルカ

答 如何ナル事情アルモ直接ニ舍主又ハ家人ニ苦情ヲ申立ル事ハ出來マセ

スルモノナラン

問 斥候報告ノ一例ヲ述ヘヨ

答 第二斥候報告實見セシ件某村ノ入口ヲ隔ツル約何百米突ノ所ニ於テ突
然敵ノ歩哨ニ出會ス彼レ我レヲ見ルヤ忽チ逃匿セリ依テ直チニ村内
ニ入り某方向約何米突ノ處マデ搜索スルモ遂ニ敵ヲ見ズ想像セシ件此
敵兵ハ想フニ敵ノ展望兵ニシテ其本隊ハ我ヨリ少數ナルナラン

宿營ノ威容 「イサマシキカタチ」

問 中隊下士ノ任務ハ如何

答 中隊長ノ耳目トナリ專ラ傳令ヲ以テ任トス又戰鬥ニ關スル記事ヲ筆記
シ中隊人員ニ係ル即チ死傷者若クハ病人等ノ有無ヲ記録シテ中隊長ニ
報告スルノ任デ在リマス

問 給與下士ノ任務ハ如何

答 中隊長ノ手足トナリ專ラ彈藥及ヒ糧食ノ供給ヲ以テ任トス又戰鬥ニ於

テハ豫備運彈員ヲ使役シテ豫備彈ノ補給ヲカメ宿舍ヲ要スル片ハ速
カニ之ヲ整ヘ聊カモ遺憾ナカラシメ又成シ得ル限りハ舍營地ノ略
圖ヲ作り之ヲ各部隊長ニ渡スベキノ任デアリマス

問 舍營トハ如何

答 建制ノ部隊毎ニ家屋ニ入り武器糧糞及ビ其他ノモノヲ身邊或ハ便利ノ
處ニ置キ急ニ應ズル如ク準備ヲナシ舍營當番トシテ一名ハ必ラズ舍内
ニ警戒シテ居リマス

問 舍營ニ著イタル後ニ注意シ置クベキ事ハ如何

答 第一ニ武器ノ手入ヲスルヲ靴及被服ノ手入ヲナスヲ水筒ニ湯ヲ入レテ
置クヲ集會所ヘ通ズル道路ヲ諳ジテ置クヲ及ビ本部、部隊長ノ所在ヲ
知ツテ置カ子バ成リマセヌ

問 舍營中舍主ニ對シ苦情ヲ訴フルヲ得ルカ

答 如何ナル事情アルモ直接ニ舍主又ハ家人ニ苦情ヲ申立ル事ハ出來マセ

又必ラズ其部長若クハ舍營長ノ手ヲ經テ上官へ上申致シマス

問 舍營中ノ警戒法ハ如何

答 日直^{トウバシ}ヲ置キ^{シヤエイノナイアチマモル}内衛ノ任務ニ充テ在リマス其内衛ハ衛兵、番兵、巡邏、傳令、使役等ニ區分シテ舍營線内ノ警戒ヲナシテ居リマス

問 舍營中^{ヨウシンチスルシラセ}警報アリシ片ハ如何

答 速カニ且ツ靜肅ニ武裝ヲ整ヘ其部隊ノ人員ガ揃^{ソロ}フヤ直チニ駈步デ集合所若クハ指命サレタ所へ集合シマス

問 日直中衛兵ノ任務ハ如何

答 本部内ニ衛兵控所^{ヒカヘシヨ}ヲ設ケ此處ニ又銃ヲナシ當直番兵ノ外ハ控所ニ在ツテ急ニ應ズル如ク準備シテ居ルノデアリマス

問 然ラバ番兵ノ任務ハ如何

答 本部入口ノ外ニ在ツテ銃ニ劍ヲ著ケ守地ヲ離レズ軍紀ヲ嚴ニシ外來人等ノ在リシトキハ寸時モ油斷セズ使役ヲ呼ビ其要旨^{ヨウムキ}ヲ糺^タシ之ヲ衛兵伍

長ニ傳ヘシメ一步モ軍紀ヲ弛^{ユル}メザル誠ニ大切ノ任デアリマス

問 巡邏ノ任務ハ如何

答 軍紀^{キタカクシテヒンカウノヨキ}風紀ヲ維持スル爲メ舍營中若クハ駐軍勤務中其警戒線内ヲ巡廻シテ衛兵番兵等ノ懈怠及散步時間ノ内外ニ於テ各兵ノ品行ヲ監視スル處ノ軍事警察ノ任デアリマス

問 舍營中散步ヲ許サレタル時ノ心得ハ如何

答 假令散步ヲ許サル、モ敵ガ目前ニ在ル如ク考ヘ飲食店ハ固ヨリ無用ノ人家ニ立チ寄り土民ニ對シ脅嚇^{オホカス}又ハ雜談スル等ハ大ノ禁令^{トイメラル}デアリマス故ニ此ノ如キ事ハ決シテ犯^{シテ}シテハ成リマセヌ

問 本部トハ如何

答 宿舍ノ都合ニ依リ指揮官本部、大隊本部、中隊本部ニ區別スルカ若クハ之ヲ合併シテ設ケマス而シテ本部内ニハ衛兵控所、診察所、炊事場^{ニルキスルトコロ}等ヲ設ケ晝間ハ旗夜間ハ燈火ヲ掲^カゲテ表示^{シラセ}シテアリマス

三十九

問 舍營ニ著ク前ニ於テ部隊長ヨリ受取ベキモノハ如何

答 舍營券ト食事券ヲ受取り舍營券ヲ以テ舍營ニ著キ食事券ヲ以テ食事ヲ受取りマス

問 舍營中ノ警戒ハ内衛ノミニテ足ルカ

答 警戒法ハ危險ノ度ニ依テ千變萬化スルモノデアリマス故ニ先ツ敵ニ接近シテ舍營スル場合ニハ特ニ外衛ヲ置キ内外共ニ嚴重ナル警戒ヲ致シマス

問 日直ニ充ツベキ兵數ハ如何

答 通常大隊ナラバ一ヶ中隊、中隊ナラバ一ヶ小隊ノ人員ヲ以テ日直ノ任務ニ充テアリマス

問 日直將校及下士トハ如何

答 現ニ日直ニ服務中ノ中隊若クハ小哨ノ長ヲ日直將校ト稱シ其隊内ニ在ル下士ヲ日直下士ト申シマス

問 露營トハ如何

答 駐軍中警戒最モ嚴ナル片若クハ舍營スベキ家屋ナキ場合ニ行フモノニシテ天然ノ障礙物及ヒ水ヲ得ルト容易ナル所ニシテ勉メテ敵眼ヲ避ケ交通ノ便ナル位置ヲ撰ミテ露營シマス

問 露營中ノ警戒法ハ如何

答 舍營中ノ警戒法ニ異ナリマセヌ武装及ビ其他ノ裝具ハ又銃線ノ後方休憩所ニ順序正シク置クカ又ハ我身邊ニ置キ注意シテ休憩シテ居リマス

問 露營中突然警報在リシ片ハ如何

答 速カニ且ツ最モ靜肅ニ武装ヲ整ヘ執銃シテ列序ヲ整ヘ以テ勇氣ヲ勵シ命令ヲ待ツテ居リマス

問 露營中呼集アリシ片ハ如何

答 速カニ又銃線若クハ集合所ニ集リマス然レハ武器ハ携ヘマセヌ

問 露營中警報アルニ際シ衛兵ノ動作ハ如何

答 衛兵ハ直チニ進ンデ敵ニ對抗シ敵若シ近接スレバ烈シク敵ノ先頭部隊ニ突進シ一時敵ノ前進ヲ沮滯セシメ以テ我軍ノ戦闘準備ヲ整ヘマス
軍人ノ先鞭 「コトヲヒトヨリサキニスル」

問 伏射掩堡トハ如何

答 胸墻ノ高サハ約ネ三十五珊壕ノ幅ハ一米五十珊許リ其深サハ約三十珊位キデ在リマス

問 膝射掩堡トハ如何

答 胸墻ノ高サハ約四十珊壕ノ幅ハ一米五十珊許リ其深サハ三十珊位キデアリマス

問 立射掩堡トハ如何

答 胸墻ノ高サハ約五十珊ニシテ其半バノ處ニ膝坐ヲ作り壕ノ幅ハ一米五十珊許リ其深サハ七十珊位キデ在リマス

問 掩堡ヲ作ルハ何故カ

答 敵彈ヲ防ギ又身ヲ隠クシ沈著シテ射撃スル爲メニ設ケルモノデ在リマス故ニ胸墻ヲ堅固ニ作ラ子バ成リマセヌ

問 掩堡ノ代リトナルモノハ如何

答 敵彈ヲ防グニ足ルベキモノ即チ堤防、凹道、墻壁、等ノ在ル所ハ之ヲ利用ス然レモ積薪又ハ積葉、生籬等ノ背後ハ頼ムニ足リマセヌ故ニ此等ノ背後ニ長ク據ツテ居テハ成リマセヌ

問 赤十字條約トハ如何

答 戦闘ニ於テ敵味方ノ別ナク互ヒニ患者ヲ救ヒ助ケル方法ヲ定メラレデアリマス

問 軍歌トハ如何

答 軍歌ハ軍隊ノ志氣ヲ鼓舞スル爲メノ者デアリマス亦タ長途行軍ニ在テハ軍歌ノ力ナカラネバ勇氣ヲ惹起シマセヌ

問 未知ノ地ニ於テ方位ヲ知ル法ハ如何

答 晝間ハ太陽夜間ハ月又ハ星ニ依テ方位ヲ知ラネバ成リマセヌ

問 太陽ニ依テ方位ヲ知ル方ハ如何

答 太陽ハ午前六時ニ東ニ九時ニ至リテ東南ニ在リ正午ニ及ンデ南ニ在リ

午後三時ニハ西南ニ在リマス故ニ之ニ依テ方位ヲ推知シマス

問 太陽ニ依テ北方ヲ知ル法ハ如何

答 正午太陽ニ背ヒテ位置シ其身體ノ影ヲ伸長シテ地平線ニ通ゼシム然ル

片ハ此伸長線ハ即チ北デアリマス

問 月ニ依テ方位ヲ知ル法ハ如何

答 満月ノ片ハ午前六時ニ西ニ在リ夜半ハ南ニ在リ午後六時ニ東ニ在リマ

ス下弦ノ片ハ午前六時ニ南ニ在リ夜半ニハ東ニ在リ新月ノ片ハ午前六

時ニ東ニ在リ午後六時ニ西ニ在リ上弦ノ片ハ夜半ニハ西ニ在リテ午後

問 星ニ依テ方位ヲ知ル法ハ如何

答 天氣晴朗ナル片ハ極星ニ依テ方位ヲ知ルヲ得即チ七星ノ端末ノ延線

上五倍ニ位置スル星ハ即チ極星ナリ而シテ此七星ハ極星ノ周圍ヲ運動ス

ルヲ以テ夜間七星ハ終始其位置ヲ異ニス然レモ極星ハ常ニ北方ニ在リ

問 時計ト太陽ニ依テ方位ヲ知ル法ハ如何

答 太陽ニ背ヒテ位置シ其身體ノ影ヲ伸長シテ地平線ニ通ゼシメ時計ノ短

針ヲ之ニ一致セシメテ十二時ト短針トノ間ニ成ス角ヲ二等分シタル線

ハ則チ北ナリ故ニ他ノ方位ハ之ニ依テ推知スルヲ出來マス

問 樹木、家屋、標杭等ニ依テ方位ヲ知ル法ハ如何

答 此等ノ物體ハ通例北ニ面スル方ニ青色或ハ苔ケチ生ズル者デ在リマス

故ニ此等ノ兆候ニ依テ推知スルコトが出來マス

問 距離目測ノ演習ヲナスハ何故カ

答 距離ノ測定ハ射撃ノ効力ニ至大ノ影響ヲ及ボス者デアリマス故ニ屢々此演習ヲナシテ目測法ニ熟練セシメ以テ射撃ノ効力ヲ増大ニスル爲メデアリマス

問 距離ノ測定法ニ幾種アルカ
答 歩測、目測、音響推測ノ三種デアリマス其内最モ必要ナ法ハ目測デアリマス

問 距離推測ノ演習ニ用フル器具ハ如何
答 測音「テレメーター」「スタジオ、メーター」「十字杆(クロスバー)及ビ距離索等デアリマス又タ白赤ノ布片ヲ縫ヒ合セテ作りタル旗ヲ用フル爲メ旗竿三本ヲ用ヒマス

問 「スタジオ、メーター」ノ製作ハ如何
答 此測杆ノ製ハ通常同形三角ノ理ニ基キタルモノニシテ縦杆ノ長サハ五呎即チ六十吋ニシテ横杆ノ長サハ四吋ナリ之ヲ直角三角形ニ作り縦杆ノ上面ニ八一吋ヨリ六十吋マデ刻ミ横杆ニハ二吋ノ所ト四吋ノ所ニ刻

ミ目ヲ設ケ之ニ滑動照星ト同定照星トヲ備ヘ縦杆ニハ滑動照門ヲ備ヘ距離ヲ測ルル片自由ニ動カシ照準スル如クシテアリマス又タ縦杆ノ外側面ニハ三十吋ヨリ六十吋マデノ刻ミ目ガ設ケテアリマス
問 「スタジオ、メーター」ハ距離幾何マデヲ測リ得ルカ

答 測杆ノ上面ト横杆ノ四吋ヲ以テ測ルル片ハ六百米突マデヲ測ルルガ出来マス又測杆ノ測面ト横杆ノ二吋ヲ以テ測リマズレバ千二百米突マデ測リ得ル如クシテアリマス

問 測音「テレメーター」ノ用ハ如何
答 音響推測ニ用フル器具デアリマス然レモ此器ノナキハ時計ノ秒時ニ依テ測リ得ルモノデアリマス

問 距離索ノ長サハ如何
答 四十米突デアリマス而シテ此索ヲ張ルル片ハ常ニ十字杆ノ左方ニ張ラネバ

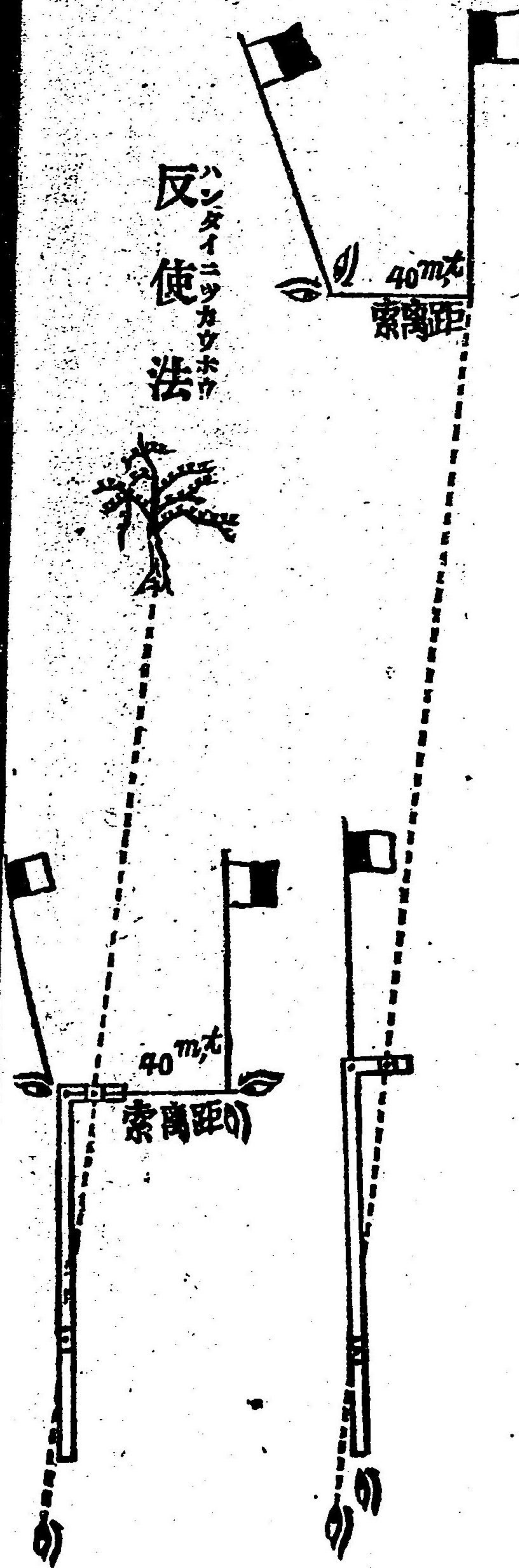
成リマセヌ

問 十字杆ノ用ハ如何

答 距離索ヲ用フル方ノ右翼ニ於テ測杆ノ方ノ旗ト十字杆ノ左方ノ旗トテ照門ヨリ照準シテ其位置ヲ定メテ直角三角形(ライト、アングル)ヲ作ル爲メニ用フルノデアリマス

問 「スタジオ、メーター」ノ使用法ヲ略圖ニテ示セ

答 正使法



問 海上推測トハ如何

答 艦船ヨリ物體ヲ目測スルノデアリマス而シテ此目測法ハ陸上ノ目測法ニ異リマセヌ併シ海上ハ凡ベテ距離ガ近ク見ヘマス故ニ思フタ距離ヨリ遠ク御座イマス

問 海上推測ニ用フル測器ハ如何

答 六分儀、三杆分度儀及ビ海圖等ニ依リマス

問 一海哩ハ何米突(碼)ニ相當スルヤ

答 米突ハ千八百五十三米突、碼ハ二千二十七碼ニ相當シマス海圖ニ在テハ二千米突トシテアル様デス

問 度分ヲ時分ニ改ムル法ハ如何

答 度ハ十五ヲ以テ除シ其商ヲ時トシ十五度未滿ハ四ヲ乘シテ分トシマス分度ハ十五ヲ以テ除シ其商ヲ分時トシ十五分未滿ハ四ヲ乘シテ秒時トシマス

秒度ハ十五ヲ以テ除シテ秒時及ビ秒時ノ奇零トシマス

問 時ヲ度ニ改ムル法ハ如何

答 時ヲ度ニ改メンニハ度ヲ時ニ改ムル全ク反對ニ行ヘバ出来マス

軍人ノ眞美 「ホントウニウツクシキト」

問 日曜日毎ニ種々ノ點檢ヲ施行セラル、ハ何故カ

答 分隊點檢ノ片ハ艦長若クハ團長ガ各分隊人員ノ容儀服裝等ヲ閱視サルルノデアリマス故ニ日曜日ニハ必ラズ下ヨリ上マデ清潔ニシテ汚シタ服ヤ靴ヲ著ケテ居テハ成リマセヌ

問 艦内若クハ團内點檢ノ時ハ如何

答 艦長若クハ團長ガ艦内或ハ團内ヲ閱視サル、ノデリマス故ニ食卓番ハ一定ニ食器ヲ飾リ各食卓ニ二名ヅ、著卓シテ來檢ヲ待チ其他ノモノハ各自ノ衣囊手箱其他萬事ヲ整頓シ掛員ノ外ハ上甲板若クハ兵舎ノ外ニ在テ靜肅ニシテ居リマス

問 倉庫點檢トハ如何

答 艦長若クハ團長ガ各倉庫ノ整頓セルト否トヲ閱視サル、ノデアリマス故ニ平常怠リナク整頓法ニ注意シテ居リマセヌト終ニハ譴責ヲ受ケテバ成リマセヌ又私物ハ決シテ倉庫内ニ置クコトハ出来マセヌ

問 軍事點檢トハ如何

答 艦長若クハ團長ガ各分隊ノ人員ヲ戦闘配置ニ就カシメ其人員ヲ調べ各分隊長ヨリ之ヲ艦長若クハ團長ヘ報告ニ成リマシテ變ニ應ズル準備ヲシテ置カレルノデアリマス

問 砲具點檢トハ如何

答 艦長若クハ團長ガ砲具ノ保管法及ヒ整備力ヲ檢閲セラレルノデアリマス故ニ砲員ハ自分ノ魂ト考ヘ常ニ砲具ヲ叮嚀ニ取扱ヒ保管法ニ注意シ遺憾ノナイ様ニ致シテ置カネバ成リマセヌ

問 武器點檢トハ如何

答 下士卒各自ニ渡シ附ケノ武器ヲ點檢サレテ保管上ノ良否ヲ點檢サ
ル、ノデアリマス故ニ十分ニ手入チシテ何時點檢ヲ受クルトモ譴責ヲ
受ケナイ様ニ十分注意シテ居ラネバ成リマセス

問 被服點檢トハ如何

答 艦長若クハ團長ノ御命令ニ依テ各分隊長ガ吾々各自ニ渡シ附ケニ成ツ
テ居ル所ノ被服ノ保存法、定數及其整頓法ヲ點檢成サルノデアリマ
ス故ニ洗濯日ニハ怠リナク洗濯シ破綻シタ所ハ縫ヒ繕フテ常ニ清
潔ニシテ置キマセヌト終ニ譴責ヲ受ケル様ナリニ成リマス

問 寢具點檢トハ如何

答 吾々各自ニ渡シ附ケノ釣床ヤ毛巾及布圍等ノ清潔法ヲ點檢サル、ノデ
アリマス故ニ怠リナク常ニ清潔ニシテ置キマセヌト終ニハ叱責ヲ受ケ
ル様ナリニ成リマス

問 手箱點檢トハ如何

答 吾々各自ニ渡シ附ケノ手箱ノ中ヲ點檢サル、ノデアリマス故ニ日用品
ノ外ハ決シテ入レテ置クヲハ成リマセヌ常ニ清潔ニシテ何時點檢ヲ受
クルトモ差支ヘノナイ様ニシテ置カ子バ成リマセヌ

問 毎土曜日ニ掃除具ノ點檢ヲナスハ何故カ

答 各部毎ニ備ヘ附ケニ成ツテ居ル所ノ器具ヲ點檢サル、ノデアリマス故
ニ器具掛リニ成ツタモノハ常ニ注意シテ整頓法ヲ勉メ定數ヲ欠カナ
イ様ニ致サネバ成リマセヌ

問 下士以下ニ渡シ附ケノ被服等ハ私物ト心得テ取扱フカ

答 凡ヘテ吾々各自ニ渡シ附ケノ被服ハ官品デ在リマス故ニ叮嚀ニ取扱
ヒマセヌト分隊長ヨリ譴責ヲ受クルノミナラズ定數ヲ欠キマシタ片ハ
自分デ買求メネバ成リマセヌ

問 然ラバ渡シ附ケノ被服ノ外ハ著服スルヲハ出來ヌカ

答 然リ服役間ハ制服外ノ服ヲ著ルヲハ出來マセヌ假令上陸若クハ外出チ

許サレテ家ノ内ニ在ルト雖モ和服ヲ著タリ制規外ノ褌袴ヲ著タリスル
ヲハ決シテ成リマセヌ

問 日曜日ニ人員調査ヲ成スハ何故カ

答 艦長若クハ團長ノ目前ニ於テ各分隊ノ名簿ニ依リ一々姓名ヲ點呼シ其
身分ニ關スル事項ヲ申告セシメテ名簿ト符合スルヤ否ヤヲ實查シ各自
ノ服装容儀及ヒ敬禮ノ正否ヲ閱視セラル、ノデアリマス故ニ平常注意
シテ不都合ノナイ様ニ心懸ケテ居ラネバ成リマセヌ

軍人ノ至要 「ゴクタイセツナ」

問 毎土曜日ニ艦内若クハ團内ヲ大掃除スルハ何故カ

答 艦内若クハ團内ヲ清潔ニシテ衛生ヲ保ツノデアリマス故ニ大掃除ニハ
限マナク掃除シテ一點ノ汚レモナイ様ニ致サ子バ成リマセヌ夫レガ爲
メ艦内ニテハ甲板ヲ砂摺シ内舷等ハ石鹼洗ヒテ致シマス
問 毎朝甲板ヲ洗ヒ若クハ拭ヒ掃除スルハ何故カ

答 艦内若クハ兵舎内ヲ清潔ニシ且ツ各自ノ衛生上ヲ顧慮サレルノデアリ
マス

問 毎日、木金具ヲ磨クノハ何故カ

答 第一保存上ト清潔法トニ關係スルノデアリマス故ニ各食卓番ハ此時食
器ヲ磨キ各部員ハ各受持ノ木具及ヒ金物ヲ磨キ外見上遺憾ノナイ様ニ
致サネバ成リマセヌ

問 毎日大砲ノ手入レヲナスハ何故カ

答 永久ノ保存ニ堪エル如クスル爲メト一ツハ使用ニ臨ミ遺憾ノナイ様ニ
スルノデアリマス故ニ艦中ハ固ヨリ其他ノ部分ニ些カタリ汚生セ
シメズ給油孔ヲ善ク掃除シテ常ニ清淨ナル油ヲ充タシ置クヲ怠ラナ
イ様ニ十分意ヲ用ヒテ手入ヲ致サネバ成リマセヌ

問 毎日小銃手入レヲナスハ何故カ

答 凡ベテ武器ハ大小ニ拘ハラズ戰鬥力ニ關係ヲ來シ殊ニ吾々各自ノ魂ト

特ムモノデ在リマス殊ニ又小銃ハ身躬ヲ携フル所ノ誠ニ愛スベキ武器
デ在リマス故ニ怠リナク常ニ能ク手入レテ使用ニ臨ミ遺憾ノナイ
様ニシテ置カネバ成リイセヌ

問 艦内若クハ團内ニ於テ時間外ニ喫煙シテモ宜シキヤ
答 許サレマシタ時間ノ外ハ喫煙スルコトハ出来マセヌ又假令許サレマシテ

モ定所外ニテ吸煙チシタリ又タ吹殻チ放棄スル等ノコトハ決シテ出来
マセヌ

問 艦若クハ團内ニ於テ故ナク衣服ノ洗濯チシテモ宜シキヤ
答 許サレタ時間ノ外ニハ出来マセヌ若シ事故アツテ其時間内ニ出来ザル

時ハ當直將校ノ許シテ得テ午食後ノ休ミ時間ニ致シマス
問 艦内若クハ團内ニ於テ口笛又タハ大聲ヲ發シ若クハ歌舞ヲ演ジテモ宜
シキヤ

答 大ノ禁令デアリマス諸操練中ハ團ヨリ休養ノ時間ニ於テモ極メテ靜
肅ニシテ居ラネバ成リマセヌ

問 巡檢ノ時掛リ員ノ外カハ如何ニナスカ
答 都ベテ巡檢ノ片ハ掛リ員ノ外ハ其附近ニ居ツテハ成リマセヌ殊ニ初夜

巡檢ノ時ハ自分ノ釣床ニ就寝シテ居ナケレバ成リマセヌ
問 艦内若クハ團内ヨリ許可ナク上陸又ハ外出シテモ宜シキヤ
答 許可ナク上陸又ハ外出シテハ成リマセヌ若シ之ヲ蟻マリマスト直チニ

譴責ヲ受クルノミナラズ懲罰ニ處セラレマス
問 下士以下乗艇スル時ノ秩序ハ如何
答 特令ノナキ以上ハ必ラズ「スイインギングーム」ヨリ乗艇セネバ成リ

マセヌ若シ特令在リマシタ時ハ舷門ヨリ乗艇致シマス又艇ヨリ上官
ガ上ラレル片ハ上官ヲ先キニ乗艇ノ片ハ最後ニ致シマス
問 艦砲及ビ小銃ノ教練射撃チナスハ何故カ
答 射手ノ熟練ヲ要スル爲メデ在リマス軍人トシテハ此射撃術ニ熟練スル

ノガ何ヨリ一番大切デ在リマス故ニ教練射撃ニ於テ十分練磨セネバ成
リマセヌ

問 懸賞射撃トハ如何

答 各團艦等ヨリ射撃術ニ巧ミナルモノヲ撰拔サレテ射手ヲ獎勵サル、
ノデアリマス故ニ教練射撃ニ於テ十分練磨シテ此榮譽ニ與カル如ク
ナラネバ成リマセヌ

問 教練射撃ノ等級ハ如何

答 優等、一等、二等射手ト云フ様ニ等級ガ別チテ在リマス而シテ優等射手
ニハ名譽ナル射撃優等ノ徽章ヲ賜ハリマス

問 堅牢ナル装甲艦ヲ射撃スルハ何レノ部分ヲ照準シテ發射スルカ

答 近距離ニナルマデハ射撃ノ速度ヲ減ジ薄弱ナル部分即チ非装甲部ヲ照
準シテ發射シマス漸々距離ガ近クナルニ從ヒ射撃ノ速度ヲ増シ砲塔、
砲門、司令塔、機關室ノ部及ヒ其他重要ノ部ヲ照準シテ猛烈ナル射撃

ヲ致シマス

問 大小各種ノ砲皆ナ主要目的ハ同一ナルカ

答 大砲口径ノ大小ニ依テ各其目的ヲ異ニシマス即チ口径ノ大ナルモノハ
距離ノ遠近ニ拘ハラズ装甲部ノ厚薄ニ依ラズ命中スレバ損害ヲ與ヘマ
ス然レモ口径ノ小ナルモノニ於テハ近距離ニ成ツテカラ主要ノ部分ヲ
照準ナシテ射撃スルト云フコト常ニ考ヘテ居ラネバ成リマセヌ

問 速射輕砲ノ主要目的ハ如何

答 射距離二千乃至三千米突内外ニ至ツテ始メテ戦闘ニ加ハルコト出來ル
ノデアリマス故ニ愈々接近シテカラ砲身、砲門、司令塔ノ間隙等ヲ照
準シテ發射シマス然レモ此砲ノ主トスル所ハ驅逐艦及ヒ水雷艇ヲ破壊
スルノガ任デ在リマス

問 彈丸ノ貫徹力ハ直角ノ比モ斜角ノ比モ同一ノ貫徹チナスモノカ

答 斜角其度ヲ増スニ從ツテ貫徹力ハ減ズルモノデ在リマス若シ斜角増大

シテ、^{ヤアリコラスチカラ}肩ヲ以テ物體ヲ射ルニ至テハ一ツモ穿徹ノ功ナキニ至リマ
ス故ニ成ルベク直角ノ物ヲ射撃スルヲ常ニ念頭ニ置ガ子バ成リマセ
ヌ

問

彈丸ノ破壊力ノ強弱ハ何ニ因ルカ

答

彈質ノ堅固、^{ウツトキノハヤサ}速、^{イカリハダラケコト}炸薬ノ質量及ビ其爆發性等ニ依リマス近時ノ如ク堅
牢ナル艦ニ對シテ至大ナル損害ヲ與ヘントスレバ、^{モットモイナル}至高爆發力ヲ有
スル火薬ヲ用キテ甚シキ^{ウチコワストコロノツヨキクワヤクノハダラキ}破壊的炸烈ヲ爲スノ用ニ供ヘネバ
成リマセヌ

問

攻メ來ル敵ニ對シ照尺ノ整ヘ方ハ如何

答

攻メ來ル敵ニハ其勇氣ヲ挫グ爲メ照尺ヲ近ク整ヘマス又陣地ニ據ル敵
ナレバ援隊及ビ豫備隊ニ損害ヲ與ヘル爲メ照尺ヲ遠ク整ヘル方ヲ有
利ト致シマス

問

砲兵ニ對シテハ何レノ部ニ向ツテ射撃スルカ

答 射撃シアル砲兵ニハ砲手ヲ狙撃シ運動スル砲兵ニハ砲車ヲ引ク馬ヲ狙
撃シマス

問

並及ビ徐ノ射撃ハ如何ナル時機ニ用フルカ

答

近距離ナルモ小ナル目標ニハ徐ノ射撃ヲ行ヒ又距離遠クトモ大ナル
目標ニハ並射撃ヲ用ヒマス

問

急射撃ヲ用フル時機ハ如何

答

近距離ニ在ツテ照準ヲ密ニシ間斷ナク射撃シ其効力ヲ逞フスル片又時
ニ依ツテハ八百米突ノ距離ニ於テモ急射撃ヲ行フガ在リマス

問

急射撃ヲ應用スル時機ハ如何

答

銃劍突撃ヲ成ントスル時、村落、森林、^{ニワカニ}俄然敵ト衝突セシ片、騎兵ヲ
防禦スル片、敵ノ突撃ヲ撃攘スル片及ビ退却スル敵ヲ追撃スル場合等
ニ行ヒマス

問

決戦ノ片又ハ騎兵ニ對スル片ハ如何ナル姿勢ヲ取トスルヤ

答 敵ニ損害ヲ與ヘルヲ第一ニ致サ子バ成リマセ又故ニ働作ノ自由ヲ得ル所ノ立姿ヲ良ト致シマス

問 混用照尺ヲ用フル時機ハ合何

答 距離ノ確實ナラザルハ於テ前列兵ハ低キ照尺後列兵ハ高キ照尺ヲ整ヘマス而シテ其差ハ通例百米突トシテ凹地ナドヲ挾ミテ居ル敵ニ對シテ用キマス又一齊射撃ニハ混用照尺ヲ用ユルヲ良トシマス

問 射撃目標ノ撰定ハ如何

答 第一ニ高キモノ次ニ廣ク稠密ナルモノヲ撰ミ成ルベク命中効力ヲ大ニスル所ヲ選ビマス

問 依托射撃トハ如何

答 命中ヲ密ニスル爲メ樹木又ハ掩堡ニ銃ヲ托シテ行フコトヲ申シマス

問 日光右或ハ左ヨリ照サバ彈著ハ何レニ偏避スルヤ

答 右ヨリ照サバ照門ノ右側ト照星ノ左側トヲ見ルガ故ニ彈著ハ左ニ偏避

シ左ヨリ照ラス片ハ右ニ偏避シマス故ニ此等ニ原因スルト云フヲ考ヘテ居ラネバ成リマセヌ

問 目標ノ下際ヲ狙フテ目的ニ命中スル理ハ如何

答 彈丸ノ出ヅル線ハ照門ヨリ照星頂ヲ延伸シタル線ノ上ニ向ツテ出デマス故ニ目標ニ命中スル理デアリマス

問 距離ヨリ物體ガ近ク見ヘル場合ハ如何

答 日光ヲ脊ロニスル片、上ヨリ下ヲ見ル片、中間ニ斷絶地ノ在ル片、目標ノ後方明カナラザル片及ビ晴天開豁地ナル片ハ近ク見ヘルモノデアリマス

問 實距離ヨリ遠ク見エル場合ハ如何

答 日光ニ面ズル片、下ヨリ見ル片、細長ナル場所、曇天雨雪ノ片及ビ目標ノ後方明カナル片ニハ遠ク見エルモノデアリマス

問 側方ニ移動スル目標ニ對シテ照準發射ヲナス法ハ如何

答 其距離及ビ目標ノ移動スル速度ニ從ヒ絶エズ其前方ヲ照準シツ、目標ノ運動ニ從ツテ發射シマス

問 伏射ニ在テ敵ノ見エザルルハ如何

答 伏射ノ儘ニ裝填シ後チ立射若クハ膝射ヲ爲シ再ビ伏臥シテ裝填シマス
問 艦内ニ於テ砲臺ノ區分ハ如何

答 前砲臺、後砲臺、右舷砲臺及左舷砲臺等ニ區分シテ在リマス而シテ砲臺ノ指揮ハ戦闘配置ニ依テ各分隊長ガ指揮監督ヲ成サレマス

問 然ラバ水雷發射管ハ如何ニ區分シ在ルカ

答 通例前部ト後部ニ區分シテ在リマス又艦ノ構造ニ依テハ中央ニ發射管ヲ備ヘテ在リマス而シテ水雷ノ發射ハ水雷長ガ指揮監督成サレマス
問 臨戦準備トハ如何

答 都ベテ戦闘ニ不必要ノモノハ殘ラズ艦内ノ妨ゲナキ所ニ取入レ糧食、彈藥、石炭等ヲ搭載シ一ツトシテ遺棄ノナイ様ニ準備スルコト在リマ

ス

問 軍艦射撃ハ幾種ニ分タレタルカ

答 艦砲射撃、艇砲射撃及ビ野砲射撃ノ三種ニ分タレテアリマス

問 軍艦射撃ニ用ユル標的ニ幾種アルカ

答 海上標的及ビ陸上標的ノ二種デアリマス

問 兵器トハ如何

答 砲銃、刀鎗、水雷、彈藥、探海電燈、發電機、軍樂器及ビ附屬品ヲ云フデアリマス

問 小銃射撃ハ幾種ニ分タレタルカ

答 獨立、遠距離、特種及ビ衆合射撃ノ四種ニ分タレテアリマス

問 軍艦碇泊中長官若クハ司令官ノ乗艦(艇)出入スル時ハ如何

答 氣ヲ附ケノ號音^{ラッパ}ニテ直チニ起立シ姿勢ヲ正フシテ敬意ヲ表シマス若シ「チー」一聲ガ附キマス并ハ右舷ニ「チー」二聲ガ附キマス并ハ左舷側ニ

面シテ敬意ヲ表シマス軍艦ノ出入スル片モ又同様致シマス

問 軍艦ニ於テ軍艦旗上下ノ片ハ如何

答 軍艦旗ニ面シ舉手注目ノ敬禮ヲ行ヒマス而シテ號音ノ始メヨリ終ルマデ其姿勢ヲ保ツテ居リマス

問 軍艦ニ於テ艦橋ノ階梯ハ何レノ側ヨリ上下スルヤ

答 右舷側ノ梯子ハ艦長ガ上下ヲ成サルノデ在リマス故ニ吾々ハ左舷側ノ梯子ヨリ上下セネバ成リマセヌ

問 艦内ニ於テ休憩中砲門其他舷側等ニ倚リ懸テモ宜シキヤ

答 決シテ其様ナクハ出來マセヌ又々中甲板ノ砲門ヤ舷窓ハ固ヨリ下窓板ノ窓等ヨリ「ノゾク」ハ成リマセヌ

問 休憩中後甲板ヲ運動シテモ宜シキヤ

答 後甲板ハ將校士官ノ運動成サル所デ在リマス故ニ下士以下ハ前部甲板ニ於テ運動致サネバ成リマセヌ

問 當直番兵ニ向テ談話等ヲナシテ宜シキヤ

答 否ナ決シテ公用ノ外カ番兵ニ向テ言語ヲ交ヘテハ成リマセヌ又番兵ニ抵抗スルト云フ様ナクハ苟且ニモ致シテハ成リマセヌ

軍人ノ意輝 「コ、ロチカマヤカス」

問 金鵄勳章ハ如何ナル功ニ依テ賜ハルカ

答 拔群ノ武功ヲ奏シタル將校ノ指揮下ニ在ツテ能ク衆ニ擡ンデテ働作シ此將校ノ武功ヲ奏スル爲メ與ツテ力アルト認定セラレタル者ニ賜ハ

リマス

問 戦闘中射撃ノ功ニ依テ金鵄勳章ヲ賜ハルカ

答 敵ノ艦船ヲ狙撃シテ之ヲ沈没セシメ又ハ之ヲ破壊シ殆ド其戦闘力ヲ失ハシメタル者ニ賜ハリマス故ニ射撃ノ術ヲ常ニ研究シテ戦闘ニ於テ其

功ヲ顯ハス如ク熟練致サネバ成リマセヌ

問 戦功ニ依リ金鵄勳章ハ何級ヲ賜ハルカ

答 功七級ヲ賜ハルノミナラズ己レ終身間年金ヲ加賜セラレマス又武功ヲ累ヌルニ從ヒ逐次ニ進級シテ功六級ニ進メラレマス

問 軍人ニ於テ勳章及ビ從軍記章ハ如何ナルモノニ賜ハルカ

答 軍人軍屬ニシテ拔群ノ軍功在ルモノニ勳章ヲ賜ハリ從軍記章ハ連勝ノ

役ニ從軍セシモノニ紀念ノ爲メ賜ベキ表章デアリマス

問 軍功アルモノ、外ハ勳章ヲ敘賜サル、トハナキカ

答 軍人軍屬ニシテ平時著明ノ勳功アル者ニハ一般ノ勳章條例ニ準シテ

之ヲ賜ハリマス

問 敘勳ヲ賜ハル勤務年數ハ如何

答 一等下士ハ滿十一年以上、二等下士ハ滿十一年半以上、三等下士ハ滿

十二年以上ノ勤務年數ヲ以テ賜ハリマス

問 勳章進級ノ勤務年數ハ如何

答 一等下士ハ滿七年以上、二等下士ハ滿八年以上、三等下士ハ滿九年以

上ノ勤務年數ヲ以テ賜ハリマス

問 勳章ヲ有スルモノ其榮譽ヲ汚辱シタル片ハ如何

答 勳章及年金ヲ褫奪サレマス故ニ重罪、輕罪及ヒ賭博犯ナドニ觸レテ

ハ成リマセヌ故ニ素行ヲ修ムルヲ第一ニ勉メネバ終ニハ大ナル

耻ヲ受クルトニ成リマス

問 任用進級試験實役停年最下期限トハ如何

答 一等水兵ヨリ三等下士ニ任ズルハ海上勤務一ケ年若クハ陸上勤務一ケ

年四ヶ月トス

二等下士ヨリ其上級ノ官ニ進ムハ海上勤務一ケ年若クハ陸上勤務一ケ

年四ヶ月トス

三等下士ヨリ其上級ノ官ニ進ムハ海上勤務一ケ年半若クハ陸上勤務二

ケ年デアリマス

一等下士ヨリ准士官ニ任ズルハ海上勤務二ケ年若クハ陸上勤務二ケ年

八ヶ月デアリマス

問 逃亡、收禁、處刑及ヒ自己ノ願ヒニ依リ歸省中ノ日數ハ實役停年ニ加算スルヤ

答 否ナ實役停年ニハ加算致シマセヌ故ニ品行ヲ能ク修^{オキ}メマセヌト遂ニハ同輩ノ者ニ後レル様ナ始末ニ成リマス

問 卒ノ進級試験實役停年最下期限ハ如何

答 四等卒ヨリ其上級ノ職ニ進ムニハ四等水兵及ビ四等機關兵ニ在テハ海上勤務四ヶ月半

水雷布設隊勤務ノ四等水兵ニ在テハ其勤務四ヶ月半其他ノ四等卒ニ在テハ海上勤務四ヶ月半若クハ陸上勤務六ヶ月デアリマス

二等卒及ビ三等卒ヨリ其上級ノ職ニ進ムハ海上勤務六ヶ月若クハ陸上勤務八ヶ月デアリマス

問 實役停年ハ何ヲ以テ算スルカ

答 海上勤務若クハ陸上勤務ヲ以テ算シ二等卒及ビ三等卒ニ在テハ四月一日及ビ十月一日四等卒ニ在テハ五月十五日及ビ十一月十五日ヲ以テ期限トシテアリマス

問 下士ノ實役停年期限ハ如何

答 三月一日及ヒ九月一日ヲ以テ期限トシテアリマス

問 卒ヨリ進ンデ高等官ニ累進スル^トヲ得ルカ

答 然リ勉勵ノ如何ニ依テ兵曹長ニマデ累進スル^トガ出來マス故ニ素行ヲ修メテ勉強ヲ勵マネバ成リマセヌ

問 行狀等級ハ何ニ依リテ附與セラル^ハカ

答 初メテ兵籍ニ入リタル^ハ三等行狀ヲ賜ハリマス而シテ三等行狀若クハ二等行狀ノ者最近一ヶ年以上同級ニ在ツテ品行方正勤務精勵ナル^ハ其上級ニ陞セラレマス

一等行狀ノ者最近一ヶ年六ヶ月以上同級ニ在ツテ品行方正勤務特

ニ精勵ナルルハ善行章一線ニ陞セラレマス

問 海軍下士卒ニ行狀及ヒ善行章ハ何ニ依ツテ附與セラレハカ
答 其品行及ビ勤務ノ狀況ニ應ジ善行章若クバ行狀等級ヲ附與セラレマス

問 然ラバ善行章及行狀ハ相通ジテ何級ニ分チアルヤ
答 善行章ハ一線ヨリ五線ニ至リ行狀ハ一等ヨリ四等ニ至ル故ニ九級ニ分チテアリマス

問 善行章一線ヨリ其以上ニ陞ルニ停年在ルヤ
答 善行章一線若クバ其以上ノ者最近三ヶ年以上同級ニ在ツテ品行特ニ方正勤務特ニ精勵ナルルハ各上級ニ陞セラレマス

問 卒ノ善行章及ビ行狀降級ハ如何
答 左ノ如シ

一、懲罰ニ處セラル、ハ一級ヲ降ス但シ三等行狀ノモノニシテ犯行ノ情狀酌量スベキモノニ在ツテハ降級ヲナサザルヲ得

二、輕禁錮ノ刑ニ處セラル、ハ二級若クハ三級ヲ降ス
三、重禁錮ノ刑ニ處セラル、ハ四等行狀ニ降ス故ニ素行ヲ修ムルヲ勉メマセメト終ニ以上ノ如キ不名譽ナルヲ惹起シマス

問 卒ノ行狀復級ハ如何
答 左ノ如シ

一、四等行狀ノ者最近三ヶ月以上刑罰ニ處セラル、ハナク品行及ビ勤務ノ狀況通常ニ復スルト認ムルハ三等行狀ニ復ス

二、三等行狀若クハ二等行狀ノ者最近六ヶ月以上同級ニ在リ其品行及ビ勤務ノ狀況降級以上ト同等以上ニ在リト認ムルハ各其上級ニ復ス

三、一等行狀若クハ其以上ノモノ最近九ヶ月以上同級ニ在ツテ其品行及ビ勤務ノ狀況降級以上ト同等以上ニ在リト認ムルハ各其上級ニ復ス故ニ速カニ改悛スルガ肝要デアリマス

問 下士ノ善行章及ビ行狀ノ附與陞級ハ如何

答 左ノ如シ

七十四

一、卒ヨリ下士ニ任用セラレタル者ノ善行章若クハ行狀ハ卒タリシト
同シ

二、下士ニ任用セラレ初メテ兵籍ニ入りタル片ハ二等行狀トス

三、二等行狀ノ者最近一ケ年以上同級ニ在リ品行方正勤務精勵ナル片ハ
一等行狀ニ陞ス

四、一等行狀ノ者最近一ケ年六ヶ月以上同級ニ在リ品行特ニ方正勤務特
ニ精勵ナル片ハ善行章一線ニ陞ス

問 善行章及ビ行狀ノ階級ハ如何

答 左ノ序列ニ依ル

一 善行章五線

二 善行章四線

三 善行章三線

四 善行章二線

五 善行章一線

六 一等行狀

七 二等行狀

八 三等行狀

九 四等行狀

問 特ニ勇敢ノ行爲アルカ若クハ拔群ノ勤勞ヲ爲シ衆人ノ模範トナルベキ
者アル片ハ如何

答 所管長官ノ認可ヲ經テ善行章若クハ行狀ノ陞級若クハ復級ヲ行ハレマ
ス故ニ斯ル榮譽ニ與カル如ク精勵セナクテハ成リマセヌ

問 掌砲兵ト爲スベキ者ハ如何

答 海軍一等兵曹以下二等水兵以上ノ者ニシテ左ノ諸項ニ適合スル者ノ中
ヨリ之ヲ撰拔セラレマス

一、身體強健視力完全品行方正ナル者

二、掌砲兵タルベキ技能學力ヲ有スルモノト認メラル者

三、射撃及距離目測ニ長シ又ハ長ズベキ見込アル者

四、掌砲兵タラント志願シ卒業後一回以上再服役ヲ爲スベキヲ誓約

七十五

スル者

七十六

問 砲術教員ト爲スベキ者ハ如何

答 一等掌砲證狀ヲ有スル一等兵曹以下一等水兵以上ニシテ卒業後三ヶ年
以上現役ニ服スベキヲ誓約スル者ノ中ヨリ所長之ヲ撰拔セラレマ
ス

問 砲術復習ヲ爲スベキ者ハ如何

答 既ニ修得シタル者ヲ復習センヲ志願シ左ノ諸項ニ適合スル者ヨリ撰
拔セラレマス

一、身體強健視力完全品行方正ナル者

二、卒業後三ヶ年以上現役ニ服スベキ者

三、射撃及ビ距離目測ノ成績優等ナル者

問 掌砲兵ト爲スベキ者砲術練習生ヲ卒業シタル片ハ如何

答 之ニ掌砲證狀ヲ授與セラレマス

問 砲術教員ト爲スベキ者砲術練習生ヲ卒業シタル片ハ如何

答 其成績ニ應ジ砲術教員適任證書及ビ掌砲證狀若クバ掌砲證狀ヲ授與セ
ラレマス而シテ砲術教員ノ資格ヲ有スルモノハ證書證狀ヲ併授サレテ居
ル者ニ限ルノデアリマス

問 復習ヲ爲ス砲術練習生卒業シタル片ハ如何

答 砲術教員適任證書及ビ掌砲證狀若クバ掌砲證狀ヲ授與セラレマス

問 掌砲證狀ハ何等ニ區分シアルカ

答 卒業試験ノ成績ニ依リ一等、二等ニ區分シテアリマス故ニ練習生ヲ命
ゼラレタ以上ハ十分勉強シテ一等證狀ヲ授カル如ク精勵セネバ成リマ
セヌ

問 掌砲兵トハ如何

答 掌砲證狀ヲ有スル下士卒ヲ云フノデアリマス故ニ其名ニ耻ヂザル如ク
常ニ注意シテ勤メネバナリマセヌ

七十七

問 掌砲證狀ノ有効期限ハ如何

答 五ヶ年デアリマス又々砲術教員適任證書ハ三ヶ年ニシテ其間ハ名アル所ノ臂章ヲ附與セラレマス

問 砲術復習ノ志願期ハ如何

答 掌砲證狀若クバ砲術教員適任證書有効満期一ヶ年以前ニ於テ所轄長ニ出願致シマス

問 練習生ニシテ艦砲射撃成績不良ナル片ハ如何

答 再發射ヲ爲シ及第セル者ニハ二等掌砲證狀ヲ授與セラレマス故ニ日常注意シテ二等射手以上ノ射撃成績ヲ得ナケレバ成リマセヌ

問 水雷術練習生ノ區別ハ如何

答 掌水雷兵ト爲スベキ者水雷術教員ト爲スベキ者及ビ水雷術復習ヲ爲スベキ者ノ三種デアリマス

問 掌水雷兵ト爲スベキ者ハ如何

答 海軍一等兵曹以下二等水兵以上ノ者ニシテ左ノ諸項ニ適合スル者ノ中

ヨリ之ヲ撰拔セラレマス

一、身體強健品行方正ナル者

二、掌水雷兵タルベキ技能學力ヲ有スルト認メラレタル者

三、水雷兵タランコトヲ志願シ卒業後一回以上再服役ヲ爲スベキコトヲ誓約

スル者

問 水雷術教員ト爲スベキ者ハ如何

答 一等掌水雷證狀ヲ有スル一等兵曹以下一等水兵以上ニシテ卒業後三ヶ年以上現役ニ服スベキコトヲ誓約シタル者ノ中ヨリ所長之ヲ撰拔セラレマス

問 水雷術復習ヲ爲スベキ者ハ如何

答 既に修習シタル者ヲ復習センコトヲ志願シ左ノ諸項ニ適合スル者ヨリ撰拔セラレマス

一、身體強健品行方正ナル者

二、卒業後三ヶ年以上現役ニ復スベキ者

問 掌水雷兵トナスベキ者水雷術練習生ヲ卒業シタル片ハ如何

答 掌水雷證狀ヲ授與セラレマス

問 水雷術教員トナスベキ者水雷術練習生ヲ卒業シタルトキハ如何

答 其成績ニ應ジ水雷術教員適任證書及掌水雷證狀若クバ掌水雷證狀ヲ授與セラレマス而シテ水雷術教員ノ資格ヲ有スル者ハ證書證狀ヲ併授セシ者ニ限ルノデ在リマス

問 復習チナス水雷練習生卒業シタル片ハ如何

答 水雷術教員適任證書及ビ掌水雷證狀若クバ掌水雷證狀ヲ授與セラレマス

問 掌水雷證狀ハ何等ニ區分シ在ルヤ

答 卒業試験ノ成績ニ依リ一等、二等ニ區分サレテアリマス故ニ十分熱心

ニ勉強シテ一等證狀ヲ授カル様ニ勵マ子ハ成リマセヌ

問 掌水雷兵トハ如何

答 掌水雷證狀ヲ有スル下士卒ヲ云フノデアリマス而シテ證書證狀ノ種類ニ依テ名アル所ノ臂章ヲ附與セラレマス

問 掌水雷證狀ノ有効期限ハ如何

答 五ヶ年デアリマス又タ水雷術教員適任證書ハ三ヶ年ニシテ其期ガ滿チマスト砲術デモ水雷術デモ名アル所ノ臂章ヲ除去セネバ成リマセヌ

問 水雷術復習志願期ハ如何

答 掌水雷證狀若クバ水雷術教員適任證書有効滿期一ヶ年以前ニ於テ所轄長ニ出願致シマス

問 砲術及ヒ水雷術教員ニ撰バル、者ハ如何

答 掌砲證狀若クバ掌水雷證狀ヲ授與セラレタル日ヨリ一ヶ年以上勤務ニ服シ練習所條例ニ適合スル者ニ非ザレバ撰拔ノ榮譽ヲ得ルコトハ出來マ

セヌ

問 信號練習生トハ如何

答 五等水兵ノ中ヨリ學術、技能ヲ有シ身體強健ナル者ヲ撰拔シ入團後三ヶ月ノ終リニ四等水兵ヲ命ゼラレ然ル後チ更ニ信號練習生ヲ命ゼラレルノデアリマス

問 信號練習生ヲ卒業シタル者ハ如何

答 卒業試験ノ成績ニ應ジ一等證狀若クバ二等證狀ヲ授與セラレ更ニ三等信號兵ヲ命ゼラレルノデアリマス

問 機關術練習生ヲ卒業シタル者ハ如何

答 水雷工ト掌機術ノ二様有ツテ是レ又卒業試験ノ成績ニ依リ一等證狀若クバ二等證狀ヲ授與セラレマス

問 船匠術練習生ヲ卒業シタル者ハ如何

答 卒業試験ノ成績ニ依リ一等證狀若クバ二等證狀ヲ授與セラレマス

問 兵器工練習生卒業シタル片ハ如何

答 其試験成績ニ應ジ一等若クバ二等證狀ヲ授與セラレマス

問 看護術練習生卒業シタル片ハ如何

答 其試験成績ニ應ジ卒業證狀ヲ授與セラレマス

問 主計學校練習生卒業シタル片ハ如何

答 其試験成績ニ應ジ卒業證狀ヲ授與セラレマス

問 以上ノ練習生ハ何ニ依テ命ゼラル、カ

答 學術優等ニシテ素行善良ナル者ノ中ヨリ撰拔シテ命ゼラレノデアリマス故ニ平素ノ勉強ガ何ヨリ大切デ御座リマス

軍人ノ心銘 「コ、ロサトメル」

問 海軍武官ノ袖章識別ハ如何

答 大將ハ金線七條ナレト三條ハ幅廣ニシテ一條ハ並幅デアリマス
中將ハ六條デ二條ハ幅廣ニシテ二條ハ並幅

少將ハ五條デ二條ハ幅廣ニシテ一條ハ並幅

大佐ハ並幅ニシテ四條、中佐ハ三條半、少佐ハ三條、大尉ハ二條、中尉ハ一條半、少尉ハ一條少尉候補生ハ半條デ在リマス

問、相當官ノ袖章ハ如何

答 金線ノ上面ニ於テ環形ナク金線ノ間ニ色線ガ添附シテ在リマス而シテ其

識別法ハ機關官ハ紫、造兵官ハ鱒茶、造船官ハ藍色、水路官ハ青色、

軍醫官ハ赤、主計官ハ白、機關兵曹長及ビ上等機關兵曹ハ紫、船匠長

及ヒ船匠師ハ緑、看護長及ヒ看護師ハ赤、筆記長及ヒ上等筆記ハ白、

軍樂長及ビ軍樂師ニハ帽ニ黄ノ線一條ヲ繞ラシテ在リマス

問 兵曹長ハ上等兵曹及ビ上等信號兵曹ノ袖章ハ如何

答 兵曹長ハ全線一條ト金鈕釦三個上等兵曹及ビ上等信號兵曹ハ金鈕釦三

個又機關兵曹長ハ金線一條デ其上面ニ環形ナク金鈕釦三個他ノ准士官

ハ金鈕釦三個ト部分ニ應ジテ色線ガ添附シテ在リマス

問 夏服肩章ノ識別ハ如何

答 大將ハ幅廣ノ金線一條ト銀ノ櫻花三個ヲ縦ニ並ベテ著ケテ在リマス中

將ハ櫻花ガ二個、少將ハ一個、大佐ハ並幅ノ全線二條ト櫻花ガ三個、

中佐ハ二個、少佐ハ一個、大尉ハ金線一條ト櫻花三個、中尉ハ二個、

少尉ハ一個、少尉候補生ハ半幅ノ金線一條デ在リマス

問 相當官ノ肩章ハ如何

答 袖章ト同一ノ色線ガ異ナルノミデ他ハ將校ト變ハリマセヌ又兵曹長ハ

金線ガ一條、上等兵曹及上等信號兵曹ハ黒ニ櫻花一個デ他ノ准士官ハ

色線ガ添付シテ在ル丈ケノ異ナリデアリマス

問 外套ノ袖章識別ハ如何

答 將官ハ黄色ノ線一條ト金ノ櫻花四個、佐官ハ三個、尉官ハ二個、兵曹

長ハ一個、少尉候補生ハ黄色ノ線ガ一條デ在リマス

問 相當官ノ外套ハ如何

答 色線が異なるノミ他ハ同一デアリマス併シ上等兵曹及ビ他ノ准士官ハ櫻花一個デ在リマス

問 現役下士卒ノ父母重症ニ罹リ若クバ死亡シタル片歸郷ヲ出願スルニ其手續アルヤ

答 親戚又ハ近隣戸主二人以上ヨリ其ノ連署ノ願書ニ市町村長ノ奥書證印ヲ受ケ醫師ノ診斷書若クバ死亡證ヲ添ヘテ艦團要港部其他各部ノ長ニ本人ノ歸郷ノ願出ヅルヲガ出來マス故ニ電報ニ由テ歸郷ヲ許サレタル片ハ右ノ手續ヲ歸郷ノ上致シテ戻ラネバナリマセン

問 下士卒旅行證票ヲ交附セラレ旅行スル片ノ心得ハ如何

答 卒其旅行ノ目的地ニ到着シタル片ハ證票ニ發著ノ月日ノ記載及ビ其地ノ市區町村長ノ證印ヲ受ケマス

問 然ラバ下士ハ如何

答 旅行中已ムテ得ザル事故ノ爲メ允許又ハ指定セラレタル期限内ニ歸役

シ能ハザル場合ニ在ツテハ其事故及ビ月日ヲ證票ニ記載シ其地ノ市町村長(汽船若クバ汽車ニ關スル事故ナル片ハ船長若クバ驛長)ノ證印ヲ受クベシ其事故傷痕若クバ疾病ナル片ハ醫師ノ診斷書ヲ持ツテ歸役シマス

問 鎮守府ニ於テ呼集アル片ノ信號法ハ如何

答 空放ヲ約十秒ツ、隔テ、三發而シ晝間ハ火藥旗ノ下ニ食事旒ヲ掲揚シ夜間ハ紅燈ノ下ニ綠燈ヲ掲揚サレマス

問 鎮守府艦隊(非役艦)ニ於テ呼集在ル片ノ信號法ハ如何

答 空放ニ發シ晝間ハ艦名旗ヲ檣頂ニ掲揚シ夜間ハ紅燈、綠燈、紅燈ヲ掲揚サレマス

問 然ラバ常備艦隊ニテハ如何

答 空放ニ發シ晝間ハ檣頂ニ零旗ヲ掲揚シ夜間ハ各檣頂ニ紅燈一個ツ、ヲ掲揚サレマス

問 艦内ニ於テモ陸上駐軍ニ於ケル如ク警戒法在ルヤ

答 然リ警戒ノ度ニ依テ二直哨兵若クハ四直哨兵ニ區分セラレ戦闘部署ニ就キテ警戒シマス

問 艦船ニ於テ水雷艇ノ防禦法ハ如何

答 砲員ハ戦闘部署ニ就キ砲員外ノ銃手ト成ツテ前部及ビ後部艦橋若クハ上甲板等ニ配備サレテ警戒防禦ヲ致シマス

問 端舟軍装トハ如何

答 大艇及ビ「カッター」等ニ速射輕砲ヲ裝載シテ陸戰隊員ノ上陸ヲ掩護スルト同時ニ敵兵ヲ擊攘スルノ目的デ在リマス

問 艦船ニ於テ陸戰隊ノ編制法ハ如何

答 右舷直人員ト左舷直人員トヲ以テ第一小隊(甲小隊)第二小隊(乙小隊)等ニ編制シ又々第一野砲員、第二野砲員、鉄兵、擔架隊(衛生部員)、豫備運彈員及ビ給與部員等ニ區分シテ常ニ部署ニ依テ編制シテ在マリ

ス

問 艦船ニ於テ消防法ノ設ケ在リヤ

答 然リ消防法ノ設ケハ最モ密ナリ其法ハ兵員部署表ニ詳記シアリテ常ニ各自ノ腦裡ヲ離レザル如クシテアリマス故ニ兵員ハ晝夜ヲ論セズ躊躇ナク其配置ニ就キ動作スルヲ記臆シテ居ナケレバ成リマセヌ

問 兵員乗艦シタルルノ心得ハ如何

答 乗艦セシ時ハ當直衛兵伍長ノ手ヲ經テ送附書及ビ携帶履歷ヲ出シ兵員部署表ヲ貰ヒ衣囊内ノ被服點檢ヲ受ケ終リテ釣床、外衣囊及ビ手箱等ヲ受取り部長ノ姓名ヲ尋ネ部長ニ就キ諸配置ヲ教ハリマス

問 海軍ノ兵種ハ如何

答 水兵、信號兵、機關兵、軍樂生、木工、鍛冶、看護、筆記、主厨等ニ別ケテアリマス而シテ將校ニ直屬スル者ハ水兵及ビ信號兵ニシテ軍令上首席ニ列シテ居リマス

問 海軍下士以下ノ臂章種別ハ如何

答 兵曹及ビ水兵ハ錨、信號兵曹及ビ信號兵ハ手旗、機關兵曹及ビ機關兵ハ兩端轉蛇鈞「スパナ」、軍樂手及ヒ軍樂生ハ黒及ビ白ノ線、船匠手及ビ木工ハ斧、鍛冶手及ヒ鍛冶ハ鐵槌、看護手及ビ看護ハ攝子（ピンセツト）、筆記ハ筆、厨宰及ビ主厨ハ鍵デ在リマス併シ下士ニハ別ニ櫻花ガ一個附キ卒ハ一等卒ニ限リ臂章ノミ附キマス

問 然ラバ練習卒業生ニハ如何ナル臂章ヲ附スカ

答 掌砲兵ニハ大砲、掌水雷兵ニハ魚形水雷、水雷工ニハ兩脚器、掌機工ニハ螺旋（スクリユ）、船匠工ニハ墨壺、兵器工ニハ勝手鋏（箆子）等デ在リマス

問 海軍諸官衙ノ所在地ハ如何

答 左ノ如シ

海 軍 省

東京麹町區

海軍々令部

海軍省内

海軍大學校

東京京橋區

海軍造兵廠

東京芝區

海軍火藥工廠

東京荏原郡

海軍水路部

東京芝區

海軍主計學校

東京京橋區

横須賀鎮守府

相模國三浦郡

横須賀海兵團

右ニ同シ

横須賀水雷團

右ニ同シ

海軍機關學校

右ニ同シ

海軍砲術練習所

右ニ同シ

海軍水雷術練習所

右ニ同シ

海軍機關術練習所

右ニ同シ

海軍船匠術練習所
 水雷工及ヒ兵器工練習所
 横須賀海軍造船廠
 横須賀海軍病院
 海軍軍樂生練習所
 吳鎮守府
 海軍兵學校
 吳海兵團
 吳水雷團
 吳海軍造兵廠
 吳海軍造船廠
 吳海軍病院
 佐世保鎮守府

相模國三浦郡
 右ニ同シ
 右ニ同シ
 右ニ同シ
 横須賀海兵團ニ在リ
 安藝國安藝郡
 右ニ同シ
 右ニ同シ
 右ニ同シ
 右ニ同シ
 右ニ同シ
 右ニ同シ
 肥前國東彼杵郡

佐世保海兵團
 佐世保水雷團
 佐世保海軍病院
 佐世保海軍造船廠
 舞鶴鎮守府
 舞鶴海兵團
 舞鶴水雷團
 舞鶴海軍病院
 舞鶴海軍造船廠
 竹敷要港部
 門司水雷布設隊
 由良水雷布設隊
 長崎水雷布設隊

右ニ同シ
 右ニ同シ
 右ニ同シ
 右ニ同シ
 丹後國加佐郡
 右ニ同シ
 右ニ同シ
 右ニ同シ
 對馬國竹敷
 豐前國
 紀伊國
 肥前國

(註)各鎮守府ニハ港務部及軍法會議ト海軍監獄署アリ

又各海軍病院ニ於テ看護術練習生ノ練習ヲナサシム

横須賀、佐世保及ビ舞鶴ニハ海軍砲銃庫アリ

問 兵語ノ名稱ハ如何

答

縦隊 ホソナガキ 横隊 ハビビロキ 展開 イクサノ 開進 セマキタイケイヨリヒ 右翼 ミギノ 左翼 ヒダリ 追撃 オイウチ 逆襲 サカニセ 掩護 ミカタヲ 警戒 フイライマ シンス 連絡 アイダヲ 搜索 テキヲサ 距離 マヘトアト 間隔 ミギトヒダリ 迂回 トヲマワリ 指揮 サシズ 占領 バシヨヲウ 破壊 コワ 間諜 マワシ 間行 シノビユ 捕虜 トリ 徵發 モノヲカ 枝隊 タイヲワ 混成 マゼコセ 伏兵 マチ 脅威 オド 牽制 ヒキツ 展望 ミハリ 斥候 モノミ 歩哨 モノミ 收容 タイキヤク 集合 タツ マ 併合 マゼコセニハ 判断 サバ 反應 ウラギリ 警報 ヲツグ 堡砦 イマシメ 堡壘 ト 逐次 ヲヒ 突進 ヌキンデ 應援 カセイ 抗戰 ハリアヒ 顧慮 シンバ 恒例 イシテア

問 地勢ノ識別名稱ハ如何

答

ツキノ 根據地 ヘイノヨ 敵愾 テキニマ 時機 トキノ 獨斷專行 ヒトリヂサバ 呐 キマリ 勇敢 イサミ 墨守 ツノマ 速成 シヤゲル 紀律 シマリツケ 服膺 ニカタク 成績 デキアガリ 幕僚 ハカリゴトラ 參謀 シヤ 考案 カンガヘ 稠密 ア ト ニメル 疎散 ニナル 離隔 カケヘ 略奪 ヨコド 樞軸 タイセツ 樞要 タイセツ 優 ガナイ 勢 ワレヨリマサリシ 掠奪 カスメ 標準 テホ 兵隊 ツワモノ 兵籍 ニシベツ 要訣 カナメナ ノ ワカレ

陰蔽地 ミワタス 開豁地 ミワタス 平地地 タイラナ 波狀地 タカヒクノ 高地 百尺以下ニシテ山ミヤク 山 百尺以上ノタカ 頂界線 イタキト、シヤ 隘路 チ リ ヨウギワガトホ 堆土 タカクモリ 耕作地 ツクモツヲ 鑿開道 キリヒラキ 築堆道 レヌセマキミチ 並樹 キノナラビテオ 獨立樹 ダチノキ 森林 オホイナ 隧道 アナムチ俗 停車場 キシヤ、クルマノ、 市街 マチノ大 村落 百戸以上千戸ニ 小邑 十戸以上百戸ニ 塔閣 タカキ 小徑 チ 堤防 ツ 溝渠 人工ヲ以テ船ノ交 溝渠 ホリ 渡船場 ワチ

ハシ 道路二人以上ヲラビテ 橋梁ハ 斷絶地通行ヲサマ 障碍物ウンドシヲサ 斷崖マダゲルモノ
 地ガケノア 斬伐林キノキリカブヨリ 寺院テ 神社ヤ 丘阜タカキ
タルトコロ 海軍高等武官ノ服制ハ左ノ如シ

- 一 正服ハ帽及上下ノ服ハ大禮装ニシテ長劍ナリ
- 二 禮服ハ禮帽ニ軍服肩飾ト長劍ナリ
- 三 軍服ハ通常帽ト軍服ニシテ短劍ナリ
- 四 通常軍服ハ通常帽ト通常服ニ短劍ナリ
- 五 飾緒ハ將官及參謀官若クハ副官タル佐尉官之ヲ佩用スル者ニシテ參謀官ニアラザレバ將官ハ正服ニノミ之ヲ用ヒ其他ハ總テノ制服ニ之ヲ用フベシ
- 六 參謀官副官兼務ノ場合ニ在テハ其本職ニ依リ飾緒ヲ佩用スベキモノトス
- 六 勳章從軍記章紀念章褒章ヲ佩用スル片ハ其綬ノ上端ヲ肩頭ノ下約一寸

トシ一列ニ佩シ（佩用スベキ勳章記章等ノ數多ナル片ハ之ヲ重複セシムルモノトス）其列ノ中央ヲ左胸ノ中央ニアラシムベシ

問 所管長官トハ如何

答 鎮守府司令長官、艦隊司令長官、要務部司令官、教育本部長、艦政本部長、經理局長、臨時建築部長等ヲ申シマス

問 所轄長トハ如何

答 艦、團、校、廠、所長、港務部、豫備艦部、臨時建築支部長及ヒ艦隊、敷設隊司令等ヲ申シマス

艦艇類別標準ハ左ノ如シ

戰艦一等ハ一萬噸以上、戰艦二等ハ一萬噸未滿、巡洋艦一等ハ七千噸以上、二等ハ七千噸未滿三千五百萬噸以上、三等ハ三千五百噸未滿
 海防艦一等ハ七千噸以上、二等ハ七千噸未滿、三等ハ三千五百噸未滿
 砲艦一等ハ千噸以上、二等千噸未滿

水雷艇一等ハ百二十噸以上、二等ハ百二十噸未滿七十噸以上、三等七十噸未滿二十噸以上、四等ハ二十噸未滿

艦艇類別等級ハ左ノ如シ

戰艦一等ハ富士、八島、敷島、朝日、初瀬、三笠、二等ハ扶桑、鎮遠、巡洋一等ハ淺間、常磐、八雲、吾妻、磐手、出雲、二等ハ浪速、高千穂、嚴島、松島、橋立、吉野、高砂、笠置、千歳、三等ハ和泉、千代田、秋津洲、須磨、明石
海防艦三等ハ筑波、金剛、比叡、濟遠、海門、天龍、葛城、大和、武藏、高雄
砲艦一等ハ筑紫、平遠、二等ハ操江、天城、磐城、鎮東、鎮西、鎮南、鎮北、鎮中、鎮邊、摩耶、鳥海、愛宕、赤城、大島
通報艦ハ八重山、龍田、宮古、千早
水雷母艦ハ豐橋

驅逐艦ハ東雲、叢雲、夕霧、不知火、陽炎、薄雲、雷、電、曙、漣、朧、白雲、霞、朝潮、曉
水雷艇一等ハ小鷹、福龍、隼、白鷹、鵠、真鶴、千鳥、雁、蒼鷹、鶇、雲雀、雉等ナリ二等三等及ヒ四等ハ噸數ニ依テ類別等級ヲ分チテアリ

金玉語 一句

- (一) 豪傑ト爲ルノ訣略ハ蓋シ忍耐ノ二字ニアリ
 - (二) 英雄トナルノ手段ハ確カニ若干歲月ノ經過ニアリ
 - (三) 男子ノ重ナル名譽ハ勇氣ニ存ス
 - (四) 英雄ノ心ハ剛柔ノ二性ヲ備フ
 - (五) 至誠能ク天地ヲ貫ク
- 格語ノ一節
- (一) 禮ヲ知ラザル者ハ人ニアラズ人ニ似タル畜類ナリ

- (二) 人ニ生死アリ死スベキ時ニ死スル身ハ生クベカラザル時ニ生クルニ勝レリ
- (三) 危険愈甚シケレバ愈多クノ勇氣ヲ顯スベシ
- (四) 困難愈甚シケレバ愈多クノ勞苦ヲ爲スベシ
- (五) 百里ヲ行クモノハ九十里ヲ半バトスベシ

帝國軍人問答終

明治三十四年十一月十五日印刷
同 年十一月二十日發行

著作 安藤國典軍港和庄町千七百三十三番地
西野 秀吉

發行兼印刷者 相模國橋本町見三百五番地
股野 三藏

發行者 安藤國典軍港和庄町五丁目
青木 清次郎

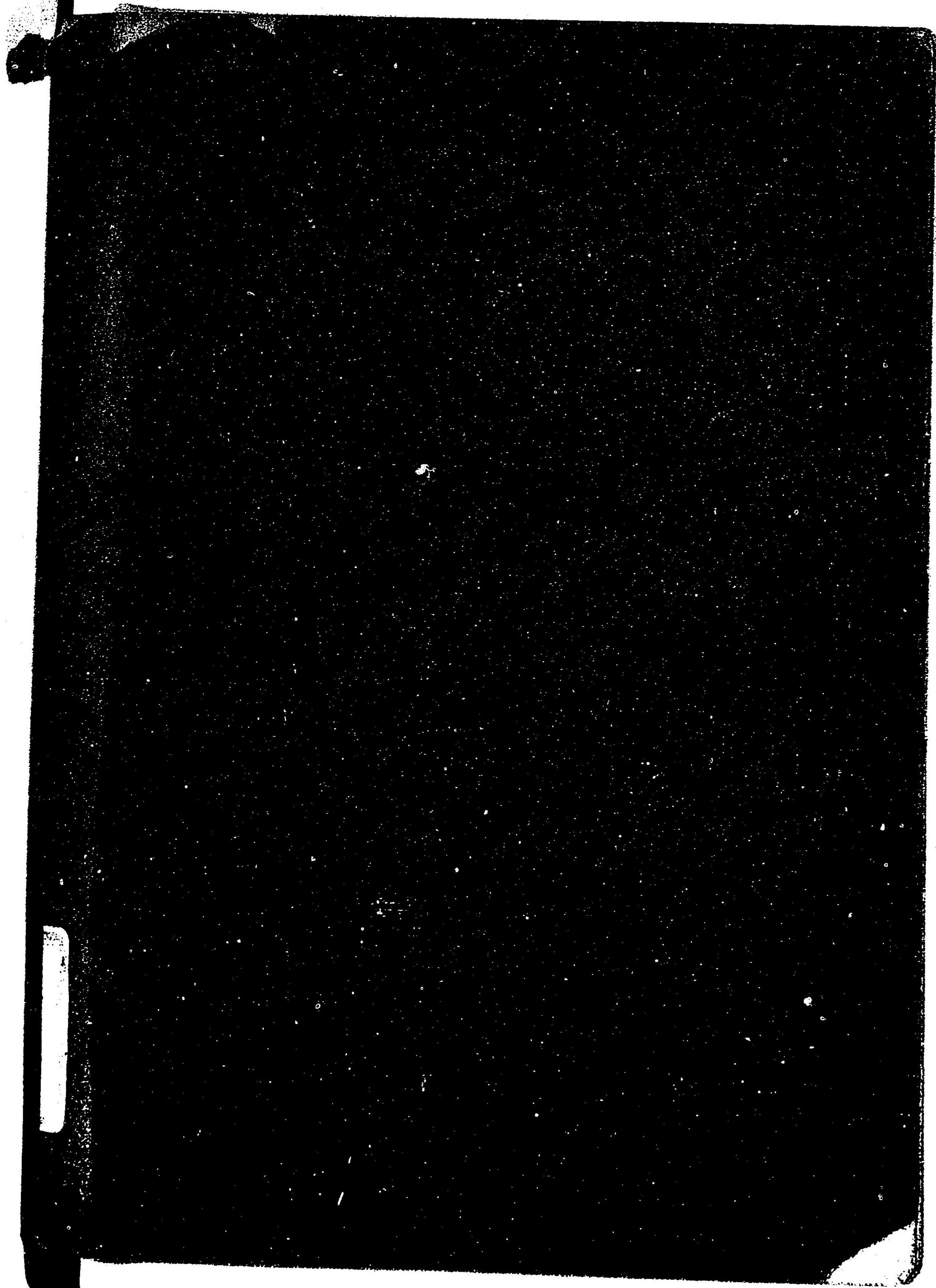
印刷所 東京市京橋區宗十郎町十五番地
合資社 東京國文社



發兌元 海軍御用教育圖書出版所
橫須賀軍港堂

軍港堂吳出張店
軍港堂佐世保出張店
軍港堂舞鶴出張店





146
655

052734-000-4

特66-43

帝国海軍軍人問答

西野 秀吉 / 著

M34

BFH-0223



特